

宜野湾市在宅介護実態調査結果報告

（第9期 宜野湾市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定資料）

宜 野 湾 市
令和5年3月

= = = 目次 = = =

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
3. 本報告の構成	1
4. 報告書の見方	1
5. 調査結果より(国の分析項目を中心に掲載)	2
(1) 基本的な項目	2
(2) 施設等検討の状況	21
(3) 介護者が不安に感じる介護	23
(4) 介護者が不安を感じる介護（サービス利用回数別）	25
(5) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況	27
(6) 訪問系サービスの利用回数と施設等検討の状況	29
(7) 介護者が不安に感じる介護（就労継続見込み別）	30
(8) 介護保険サービスの利用	32
(9) サービス利用の組み合わせ（介護者の就労状況別）	35
(10) 介護のための働き方の調整（就労継続見込み別）	36
(11) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	38
(12) サービス利用の組み合わせ（要介護度別・世帯類型別）	40
(13) 施設等検討の状況（要介護度別・世帯類型別）	42
(14) 訪問診療の利用割合	44
(15) 訪問診療とサービスの利用有無の関係	46
(16) 訪問看護の利用状況	48
(17) 救急（総合病院への定期外受診）の受診回数	49
(18) 新型コロナウイルス感染症の影響	50
6. 在宅介護実態調査 調査票	53

I. 在宅介護実態調査について

1. 調査の目的

在宅で介護を受けている高齢者について、介護の実態や介護者の就労状況等を把握し、利用している介護サービスや要介護度、世帯構成などとの集計を行うことで、今後必要とされる支援内容や、介護者の介護離職防止を念頭に置いたサービス展開等を検討することを目的に調査を実施。

調査は国から示された調査票をもとに一部設問を追加して実施。調査件数は、国から各市町村 600 件程度実施することと示されている。(地域の実情に応じて調査数は設定する)

2. 調査の概要

調査実施期間：令和 4 年 11 月 29 日～令和 5 年 1 月 27 日

調査方法：郵送による配布・回収（はがきを 1 回送付）

調査対象者：在宅で生活をしている要支援・要介護を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける(受けた)方。(住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に入居している方を含む)

有効回答数：1,400 件（配布数：638 件 回収率 45.6%）

調査内容：
・要介護者と介護者の状況
・介護者の就労状況
・行っている介護の内容
・就労と介護の継続について
・サービスの利用状況
・新型コロナウイルス感染症の影響
・施設入所の意向

3. 本報告の構成

本報告では、在宅介護実態調査の集計結果より、主な分析項目を全国(令和 2 年版「在宅介護実態調査の集計結果(全国集計)【10 万人以上 30 万人未満】)と比較しながら、市の状況把握を行っている。

4. 報告書の見方

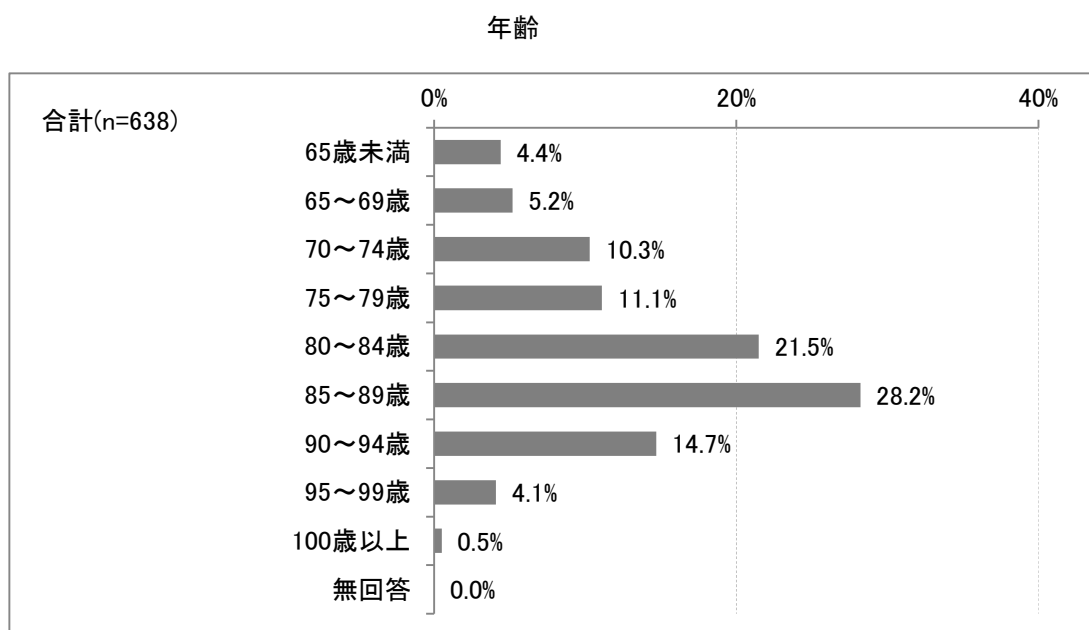
- 図表中の「n 数(number of case)」は集計対象者総数あるいは回答限定者設問の限定条件に該当する人を示している。
- グラフ中の「%」は小数点第 2 位を四捨五入しているため、単数回答の設問(1 つだけに○をつけるもの)であっても合計が 100%にならない場合がある。また、複数回答の設問の場合(あてはまるものすべてに○をつけるもの)は「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示している。
- グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しているが、文字数が多い場合は要約して記載する場合もある。

5. 調査結果より（国の分析項目を中心に掲載）

(1) 基本的な項目

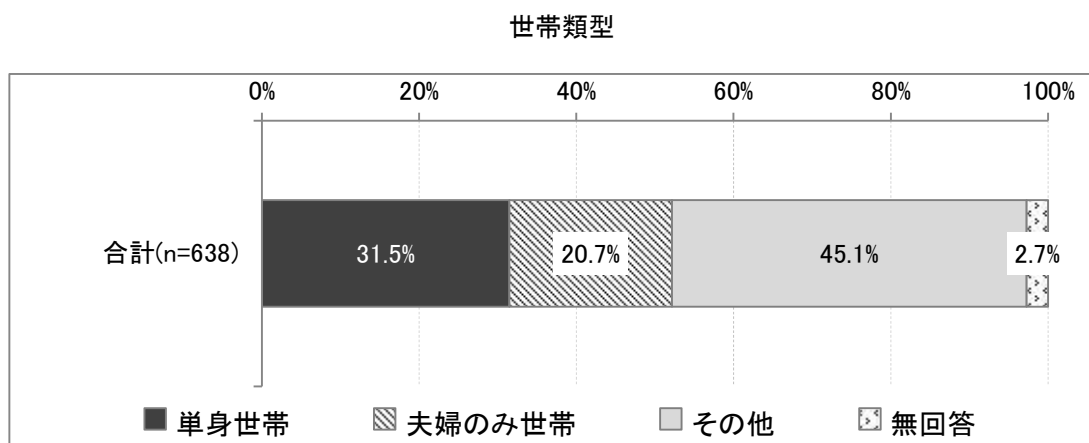
①年齢

本調査回答者（介護を受けている方）の年齢は、「85～89歳」が28.2%、「80～84歳」が21.5%で、他の年齢層より高い。これらを合わせると、80代が49.7%を占める。また、90代以上も合わせると69.0%となる。在宅生活を送る要介護者の約7割が80歳以上であることがわかる。



②世帯類型

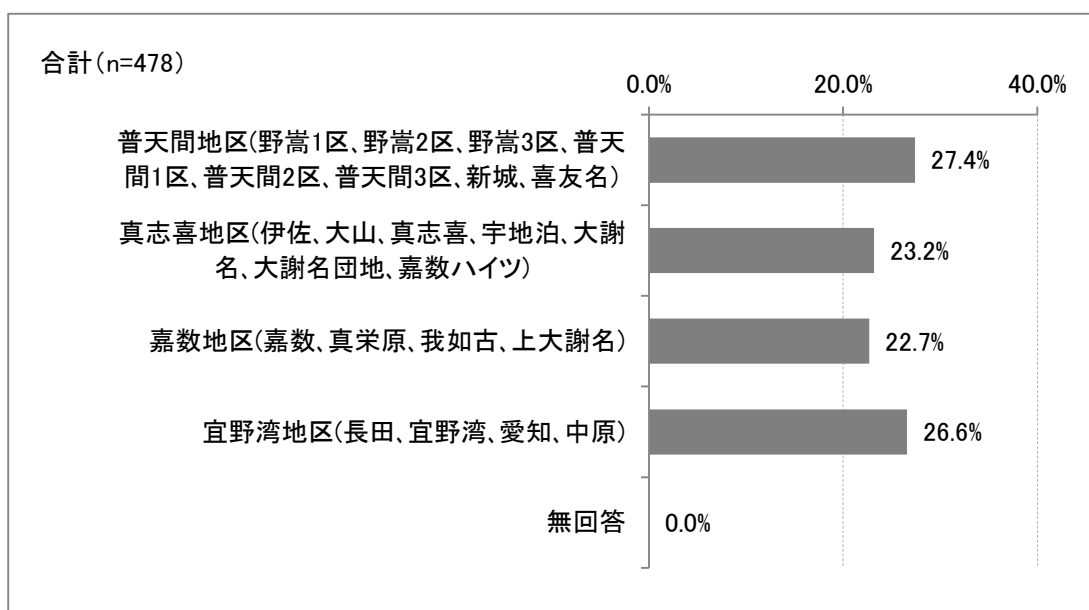
在宅介護を受けている高齢者の世帯構成を見ると、三世帯同居等に該当する「その他」が45.1%で最も高く、「単身世帯」は31.5%、「夫婦のみ世帯」は20.7%であった。



③お住いの地区

お住いの地区では、普天間地区(野嵩1区、野嵩2区、野嵩3区、普天間1区、普天間2区、普天間3区、新城、喜友名)が27.4%、真志喜地区(伊佐、大山、真志喜、宇地泊、大謝名、大謝名団地、嘉数ハイツ)が23.2%、嘉数地区(嘉数、真栄原、我如古、上大謝名)が22.7%、宜野湾地区(長田、宜野湾、愛知、中原)が26.6%となっている。

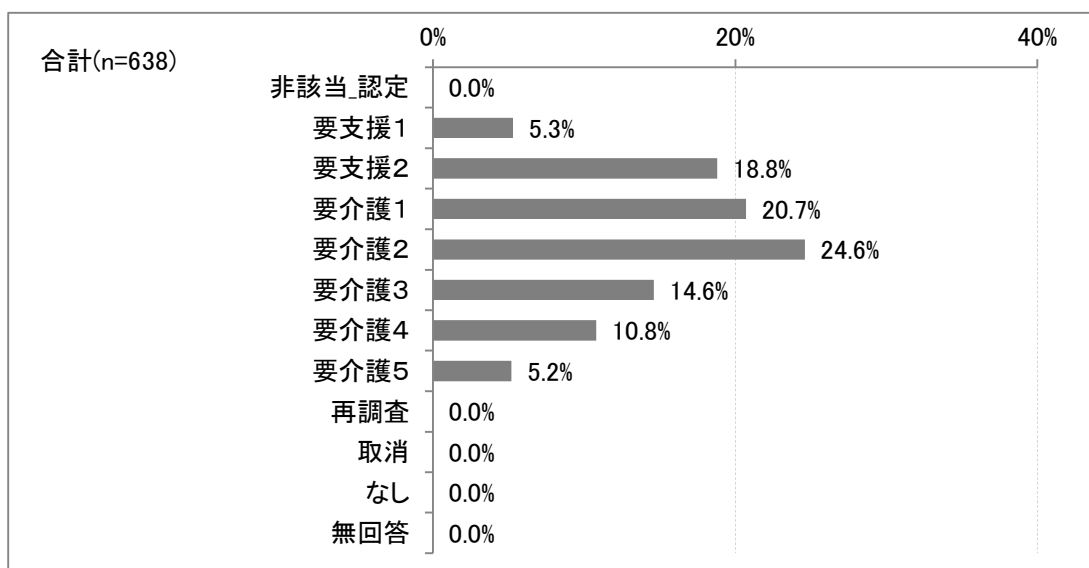
お住いの地区



④要介護度

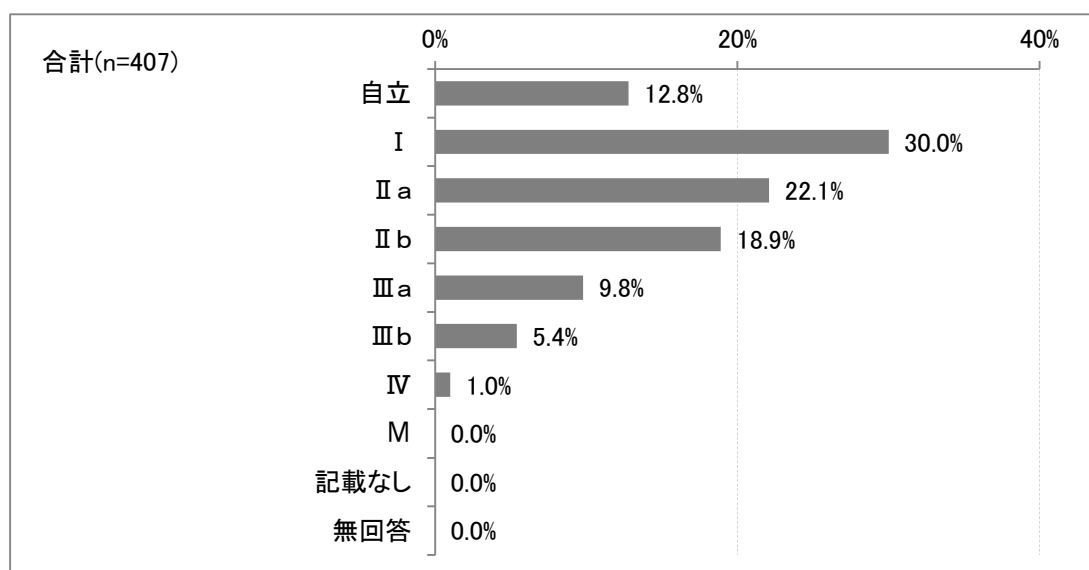
在宅介護者の要介護度を見ると、「要介護2」が24.6%で最も高く、「要介護1」が20.7%でこれに次いでいる。また、要介護3以上の中重度者は、30.6%である。

要介護度



⑤認知高齢者自立度

在宅要介護者の認知自立度を見ると、「Ⅰ」が 30.0%で最も高く、日常生活に支障を来す症状・行動が多少あるが、誰かが注意していれば自立できる状態の人が多くなっている。



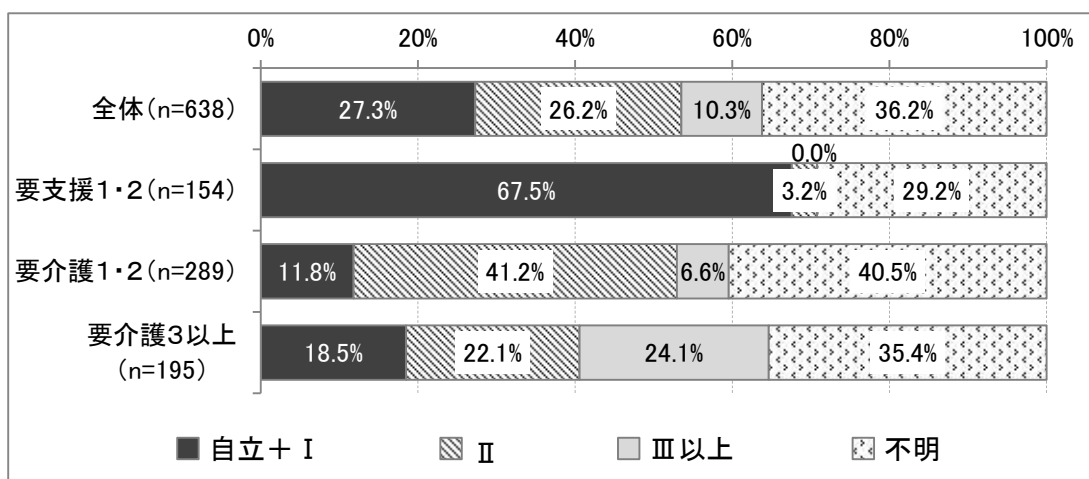
■認知症高齢者の日常生活自立度の評価基準

区分	判断基準
Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
Ⅱ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
Ⅱa	家庭外で上記Ⅱの状態が見られる。
Ⅱb	家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。
Ⅲ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。
Ⅲa	日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅲb	夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅳ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

要介護度別に見ると、「要支援１・２」では「自立＋Ⅰ」が 67.5%を占めており、認知症状がない又は認知症状があっても日常生活では自立している人が非常に多い。しかし、「要介護１・２」になると「Ⅱ」が 41.2%を占め、「要介護３以上」では「Ⅲ」が 24.1%で最も高い。自立度の低下と要介護度の重度化は比例している。

要介護度別・認知高齢者自立度

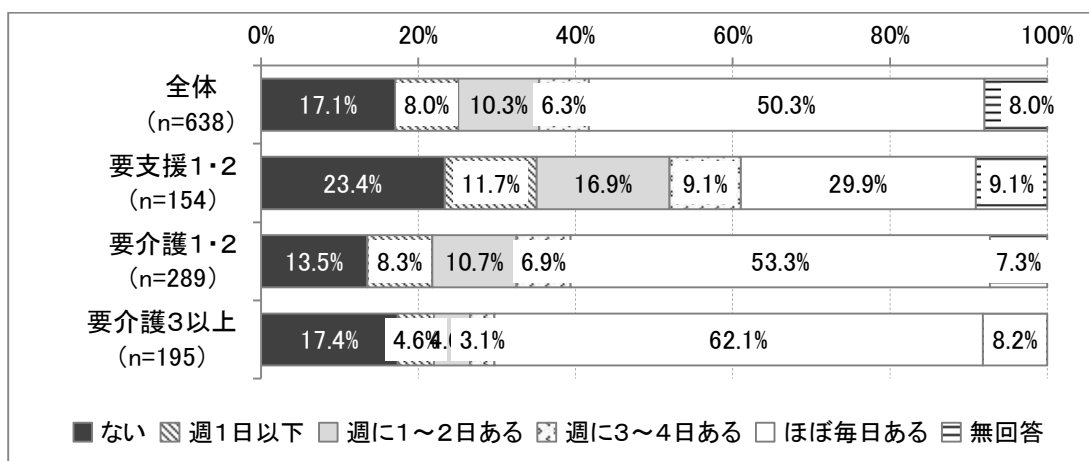


⑥家族等による介護の頻度

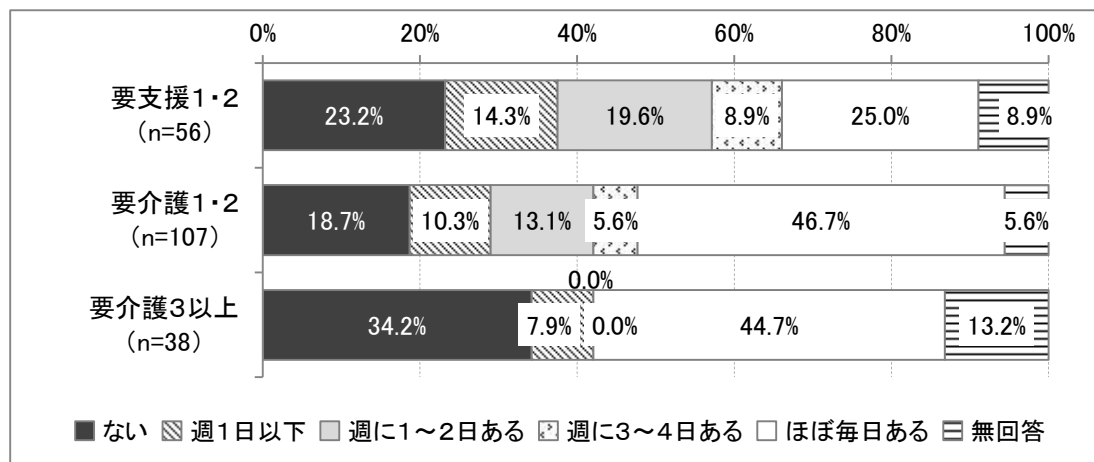
家族等による介護の頻度を見ると、「ほぼ毎日」が 50.3%であり、日常的に介護を行っている割合が半数を占めている。要介護度があがると「ほぼ毎日」の割合も高くなり、要介護３以上では６割を超えている。また、世帯でみると「その他の世帯」では要介護１・２以上で６～７割が「ほぼ毎日ある」と回答している。

介護度別・家族等による介護の頻度

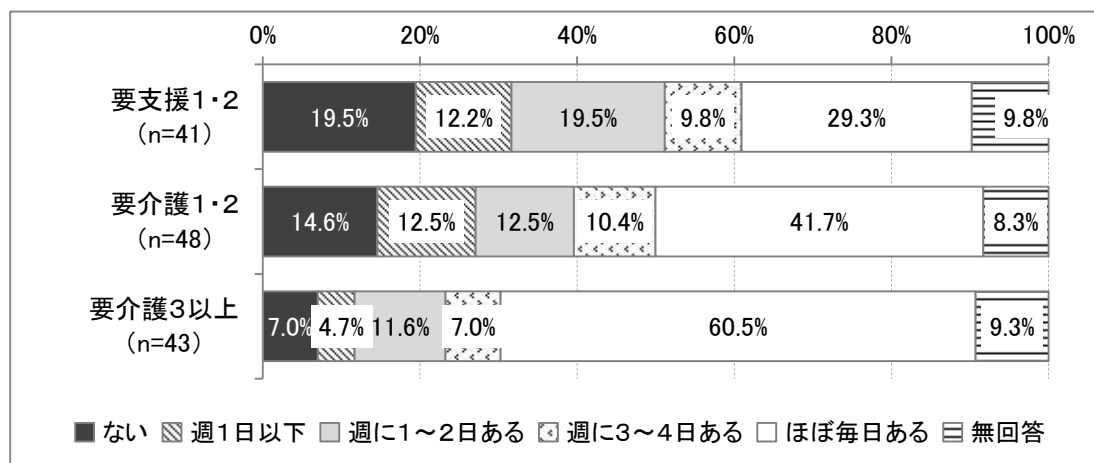
全 体



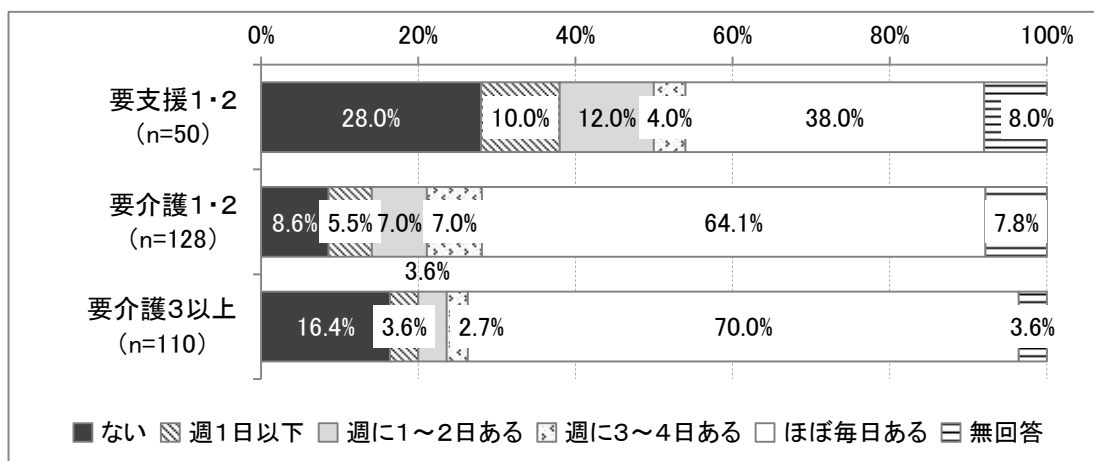
単身世帯



夫婦のみ世帯



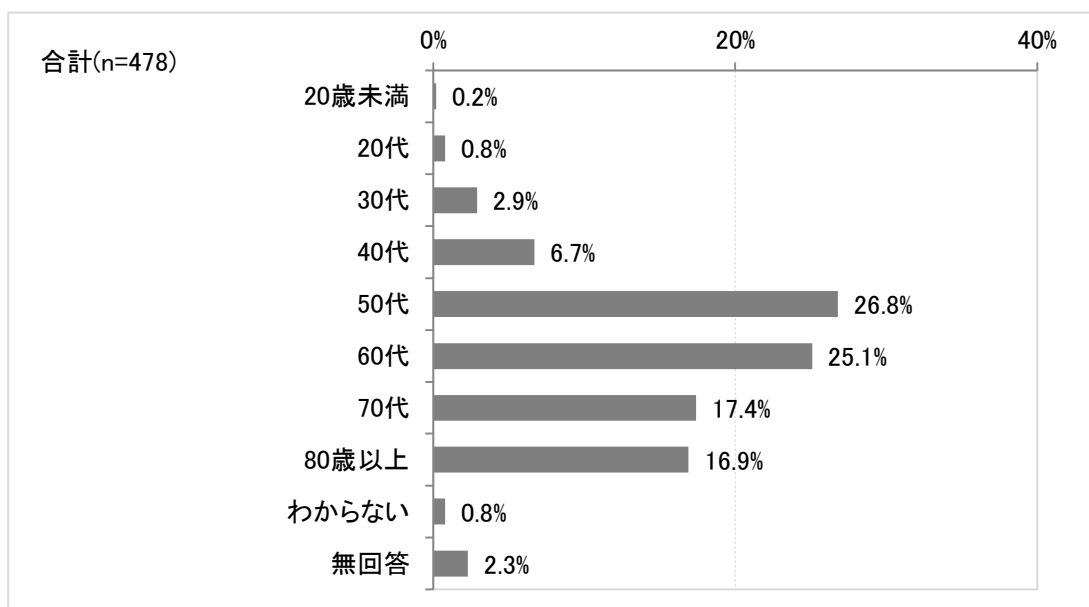
その他世帯



⑦主な介護者の年齢

主な介護者の年齢は、「50代」が26.8%と最も高く、次いで「60代」の25.1%となっている。これら2つの年代を合わせると51.9%で、5割を超える。

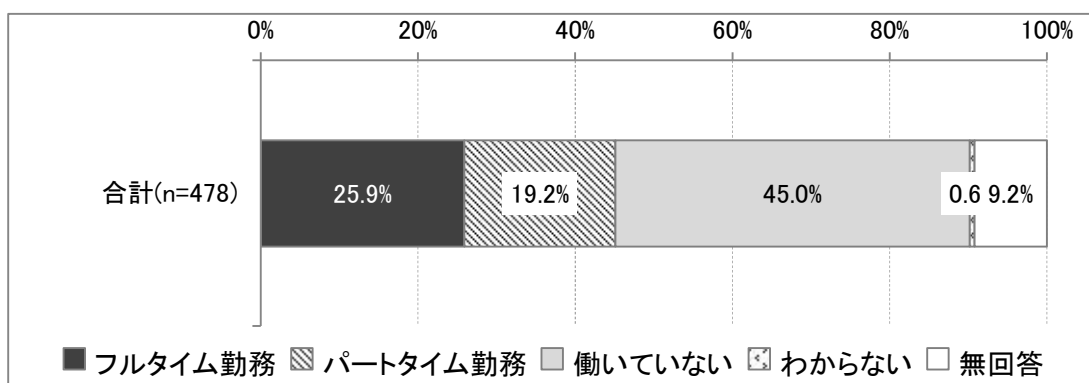
主な介護者の年齢



⑧主な介護者の勤務形態

主な介護者の勤務形態を見ると、「働いていない」が45.0%で最も高い。「フルタイム勤務」は25.9%、「パートタイム勤務」が19.2%であり、働いている介護者は45.1%となっている。

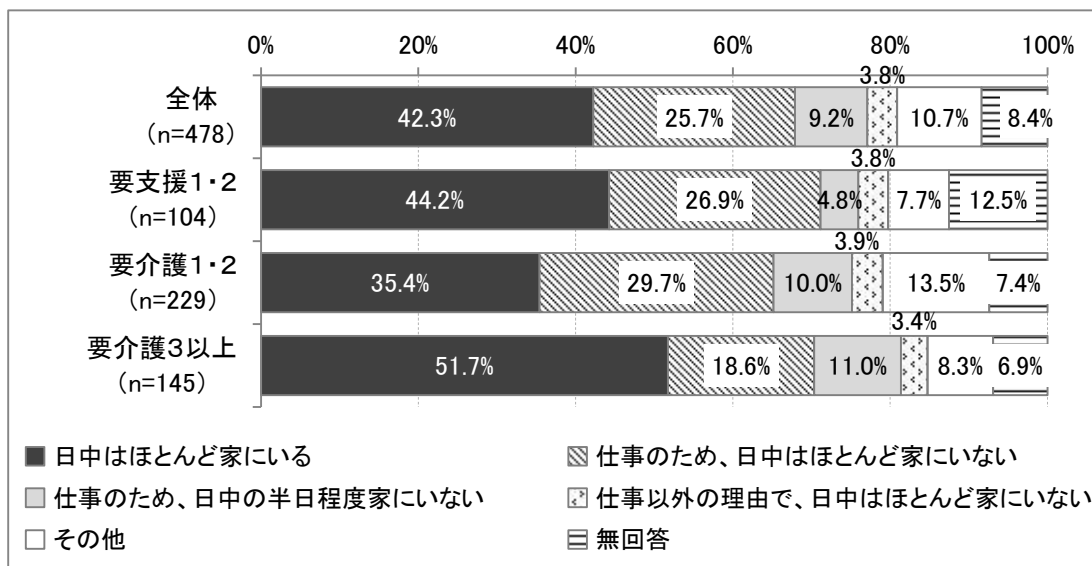
主な介護者の勤務形態



⑨介護者は日中、在宅しているか

介護者の日中の在宅状況を見ると、「日中はほとんど家にいる」が 42.3%で最も高いものの、“家にはいない”も 38.7%あり、特に「仕事のため、日中はほとんど家にはいない」は 25.7%であった。

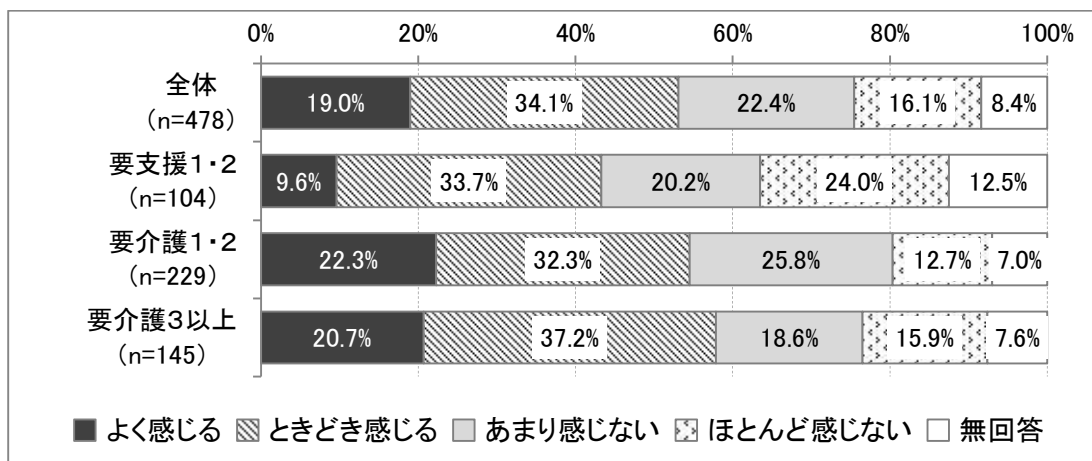
要介護度別・介護者は日中、在宅しているか



⑩介護者の孤独感

介護者の孤独感について見ると、「ときどき感じる」が 34.1%で比較的高い。「よく感じる」と合わせると、孤独感がある介護者は 53.1%となる。また、要介護度別に見ると、孤独感がある介護者は、要介護 1・2 で 54.6%、要介護 3 以上は 57.9%であり、要支援者に比べて高い。

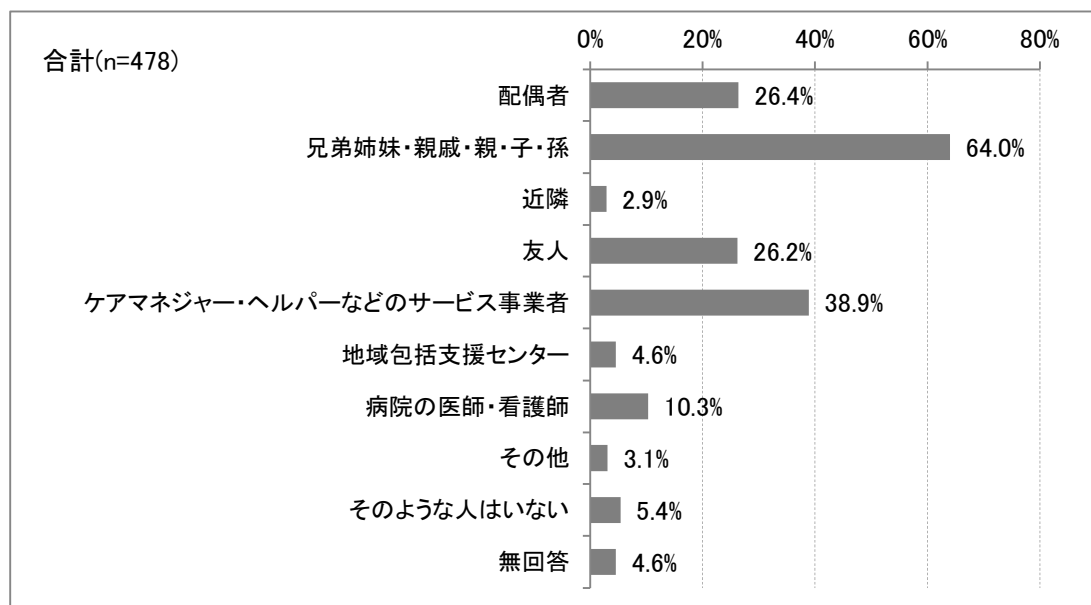
要介護度別・介護者の孤独感



⑪心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

介護者の心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「兄弟姉妹・親戚・親・子・孫」が64.0%で最も高く、次いで「ケアマネジャー・ヘルパーなどのサービス事業者」の38.9%、「配偶者」の26.4%と続いている。

心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

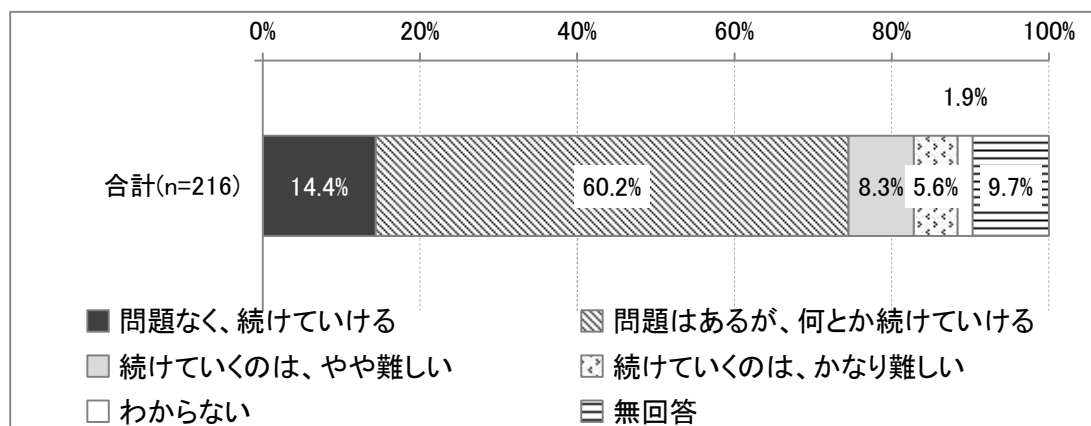


⑫主な介護者の就労継続意識の可否に係る意識

主な介護者の就労継続の意識を尋ねたところ、「問題はあるが、なんとか続けていける」が60.2%で6割を占めている。「問題なく続けていける」は14.4%であり、これら2つを合わせると、継続できるという回答が7割となっている。

「続けていくのは、やや難しい」が8.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が5.6%であり、就労継続が困難と考えている介護者は13.9%となっている。

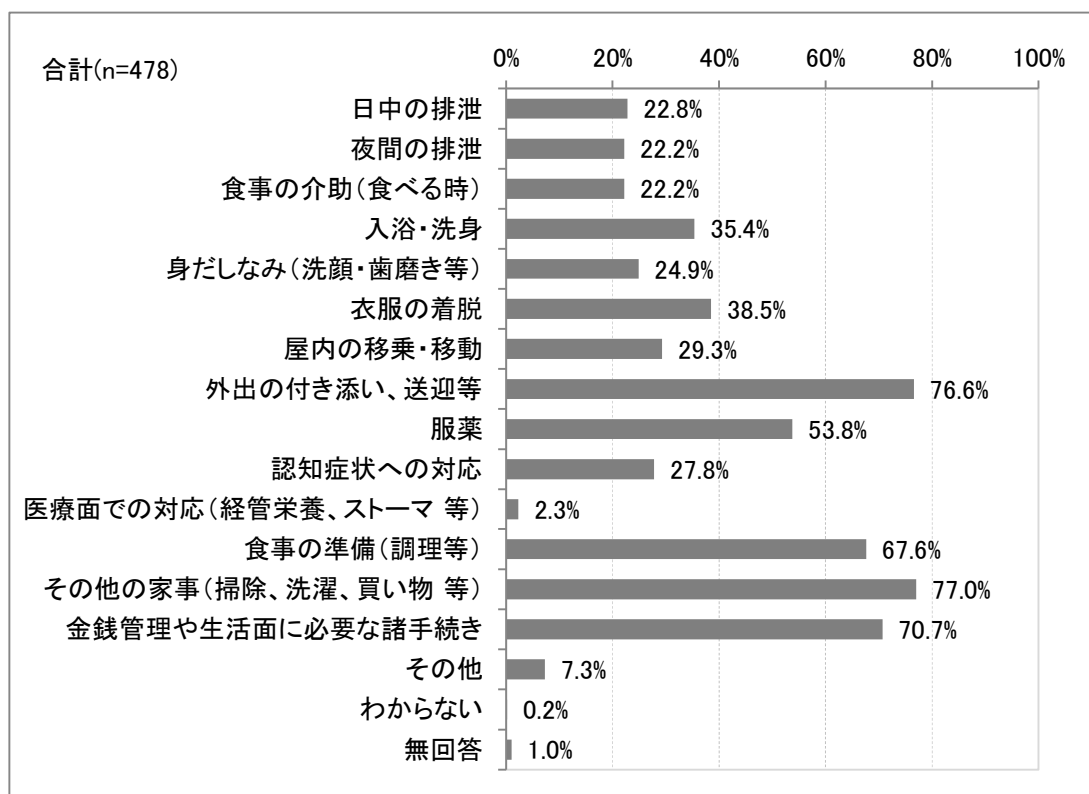
主な介護者の就労継続意識の可否に係る意識



⑬主な介護者の方が行っている介護等

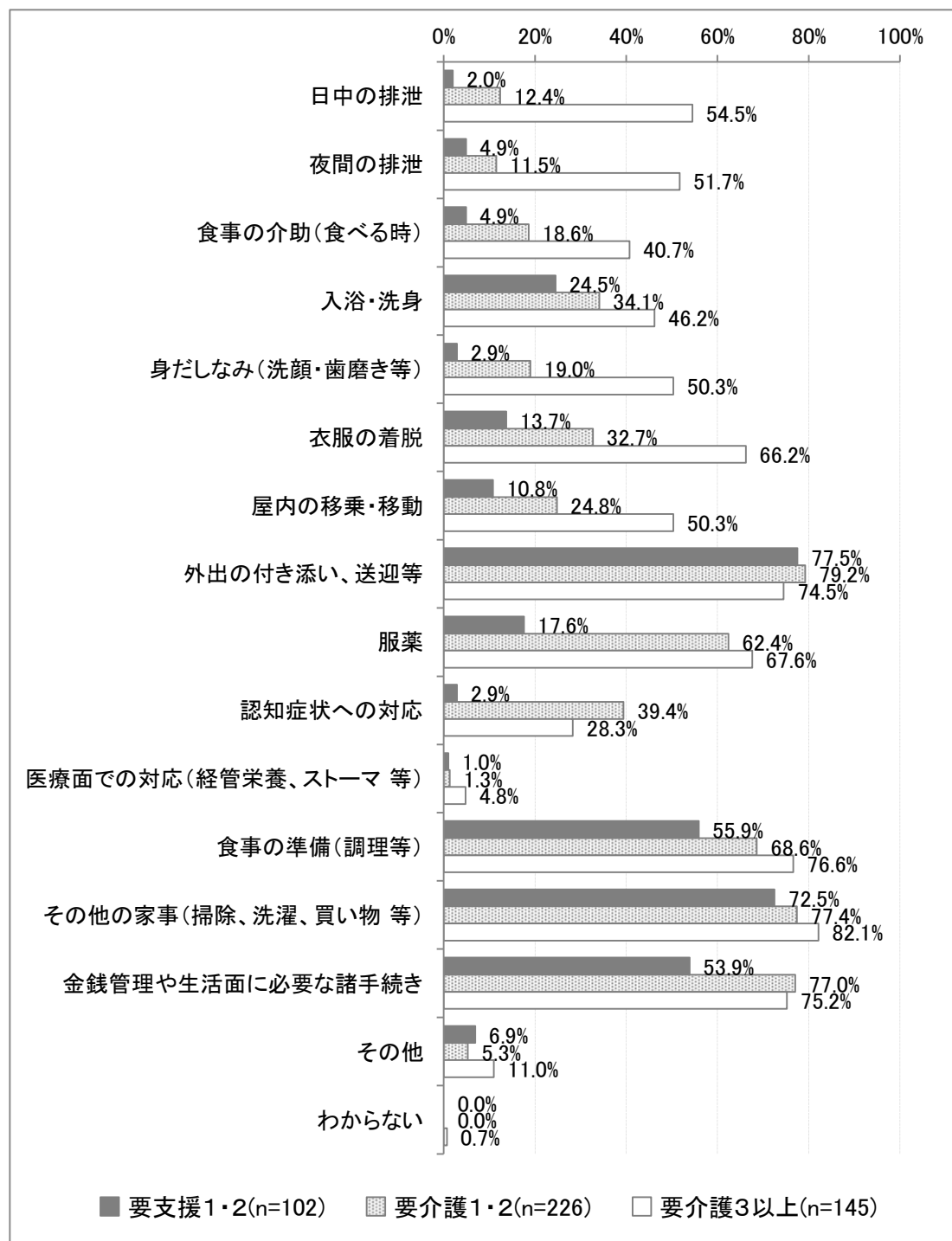
主な介護者が行っている介護としては、「その他の家事(掃除・洗濯、買い物等)」が77.0%で最も高いほか、「外出の付き添い、送迎等」の76.6%や「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の70.7%、「食事の準備(調理等)」の67.6%が高い。

主な介護者の方が行っている介護等



要介護度別に見ると、各要介護度とも先に示した「その他の家事(掃除・洗濯、買い物等)」などが高いが、要介護3以上では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助(食べる時)」、「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」、「衣類の着脱」「屋内の移乗・移動」がほかの介護度よりも非常に高くなっており、中重度の介護度では身体の介助・介護の度合いが高くなることがわかります。

要介護度別・主な介護者の方が行っている介護等

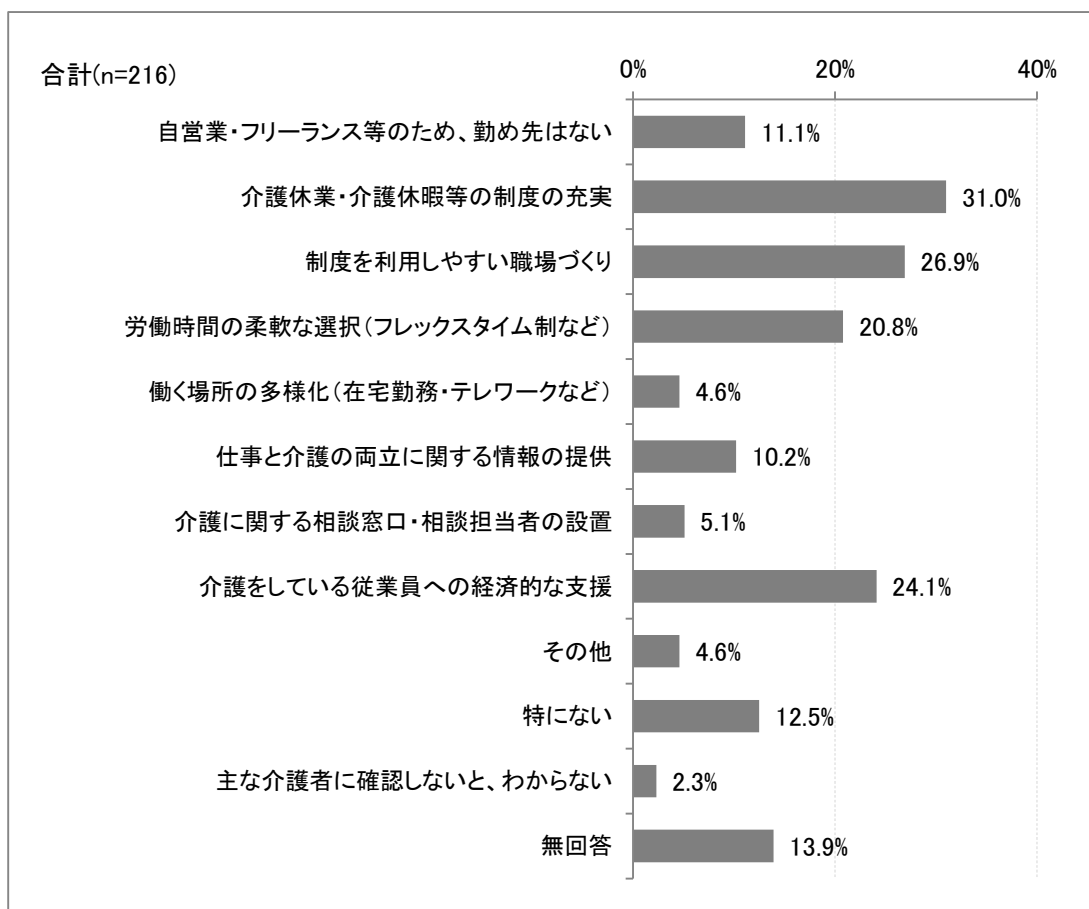


⑭仕事と介護を両立するために勤め先に支援してほしいこと

仕事と介護を両立するために勤め先に支援してほしいこととしては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」や「制度を利用しやすい職場づくり」が高くなっている。

仕事と介護の両立が難しいという人では、上記のほかに「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「介護している従業員への経済的な支援」などを望む割合が、両立に問題ないという人より高くなっている。

仕事と介護を両立するために勤め先に支援してほしいこと



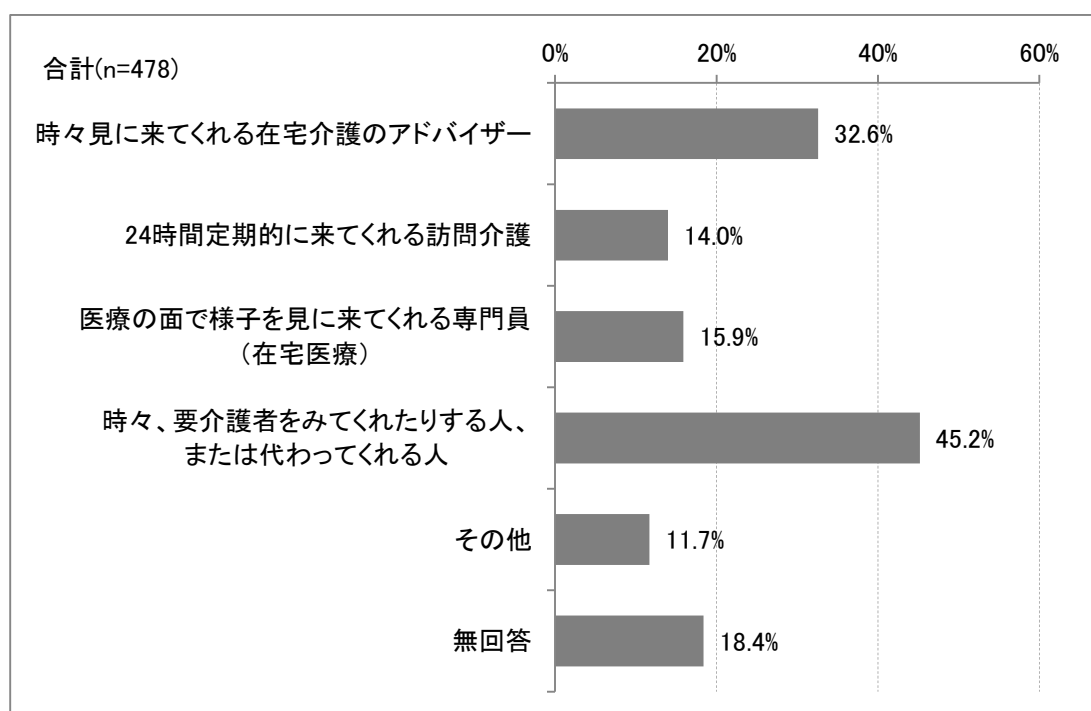
今後の介護の状況別・仕事と介護を両立するために勤め先に支援してほしいこと

	全体 (n=216)	問題なく、 続けていける (n=31)	問題はある が、何とか 続けていける (n=130)	続けていく のは、やや 難しい (n=18)	続けていく のは、かな り難しい (n=12)	主な介護者 に確認しな いと、わか らない (n=4)
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	11.1%	6.5%	15.4%	5.6%	8.3%	0.0%
介護休業・介護休暇等の制度の充実	31.0%	29.0%	35.4%	27.8%	41.7%	25.0%
制度を利用しやすい職場づくり	26.9%	19.4%	30.8%	27.8%	16.7%	25.0%
労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	20.8%	12.9%	23.1%	33.3%	25.0%	0.0%
働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	4.6%	0.0%	5.4%	5.6%	16.7%	0.0%
仕事と介護の両立に関する情報の提供	10.2%	6.5%	10.8%	5.6%	25.0%	0.0%
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	5.1%	3.2%	6.9%	0.0%	8.3%	0.0%
介護をしている従業員への経済的な支援	24.1%	16.1%	27.7%	27.8%	41.7%	0.0%
その他	4.6%	3.2%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%
特になし	12.5%	35.5%	8.5%	11.1%	8.3%	0.0%
主な介護者に確認しないと、わからない	2.3%	3.2%	0.0%	0.0%	8.3%	75.0%
無回答	13.9%	6.5%	7.7%	16.7%	8.3%	0.0%

⑮在宅介護を続ける上で必要なこと

主な介護者が在宅介護を続ける上で必要なこととしては、「時々、要介護者をみてくれたりする人、または代わってくれる人」や「時々見に来てくれる在宅介護のアドバイザー」が高くなっている。要介護度で見ると、要介護度が重くなるにつれて、「時々、要介護者をみてくれたりする人、または代わってくれる人」が増加している。地区別で見ると、いずれも全体度同様の傾向がみられるが「嘉数地区」は「時々、要介護者をみてくれたりする人、または代わってくれる人」や「時々見に来てくれる在宅介護のアドバイザー」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

在宅介護を続ける上で必要なこと



要介護度別・地区別・在宅介護を続ける上で必要なこと

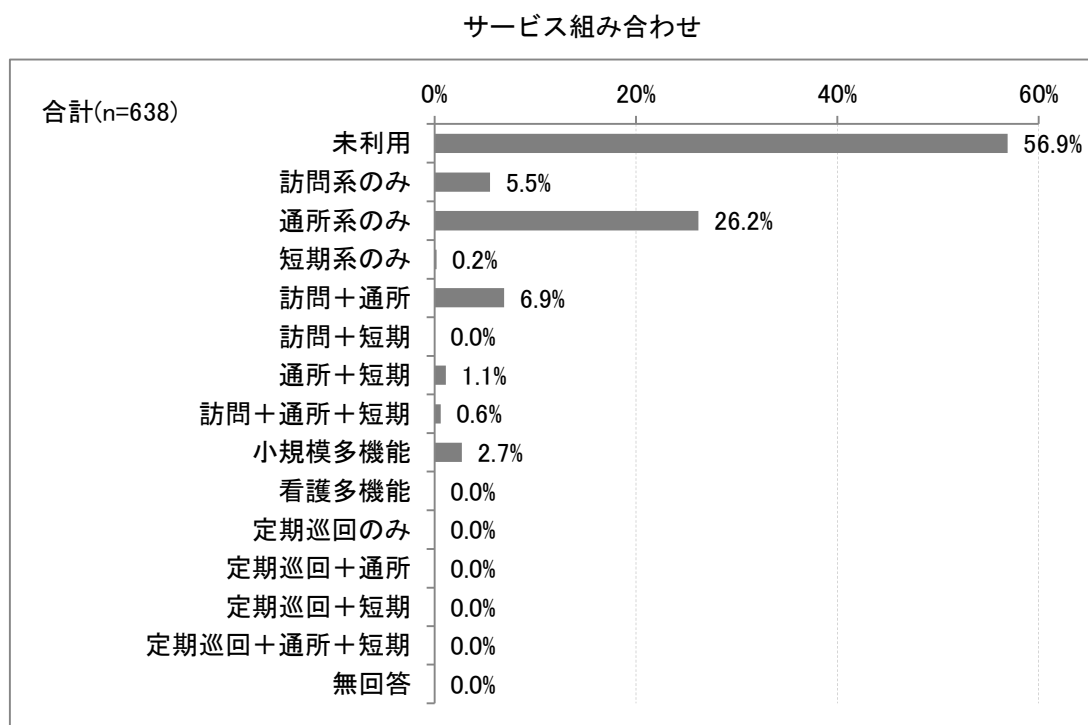
	全体 (n=478)	要支援1・2 (n=104)	要介護1・2 (n=229)	要介護3以上 (n=145)
時々見に来てくれる在宅介護のアドバイザー	32.6%	35.6%	32.8%	30.3%
24時間定期的に来てくれる訪問介護	14.0%	8.7%	14.0%	17.9%
医療の面で様子を見に来てくれる専門員 (在宅医療)	15.9%	13.5%	12.2%	23.4%
時々、要介護者をみてくれたりする人、または代わってくれる人	45.2%	29.8%	48.9%	50.3%
その他	11.7%	16.3%	8.7%	13.1%
無回答	18.4%	22.1%	17.5%	17.2%

	普天間地区 (n=126)	真志喜地区 (n=116)	嘉数地区 (n=114)	宜野湾地区 (n=122)
時々見に来てくれる在宅介護のアドバイザー	28.6%	31.9%	41.2%	29.5%
24時間定期的に来てくれる訪問介護	11.9%	12.9%	17.5%	13.9%
医療の面で様子を見に来てくれる専門員 (在宅医療)	13.5%	21.6%	13.2%	15.6%
時々、要介護者をみてくれたりする人、または代わってくれる人	45.2%	40.5%	47.4%	47.5%
その他	12.7%	16.4%	7.0%	10.7%
無回答	18.3%	15.5%	16.7%	23.0%

⑩サービスの組み合わせ

介護サービス利用の組み合わせについて見ると、「通所系のみ」が 26.2%、「未利用」（住宅改修や福祉用具利用は除く）が 56.9%となっている。

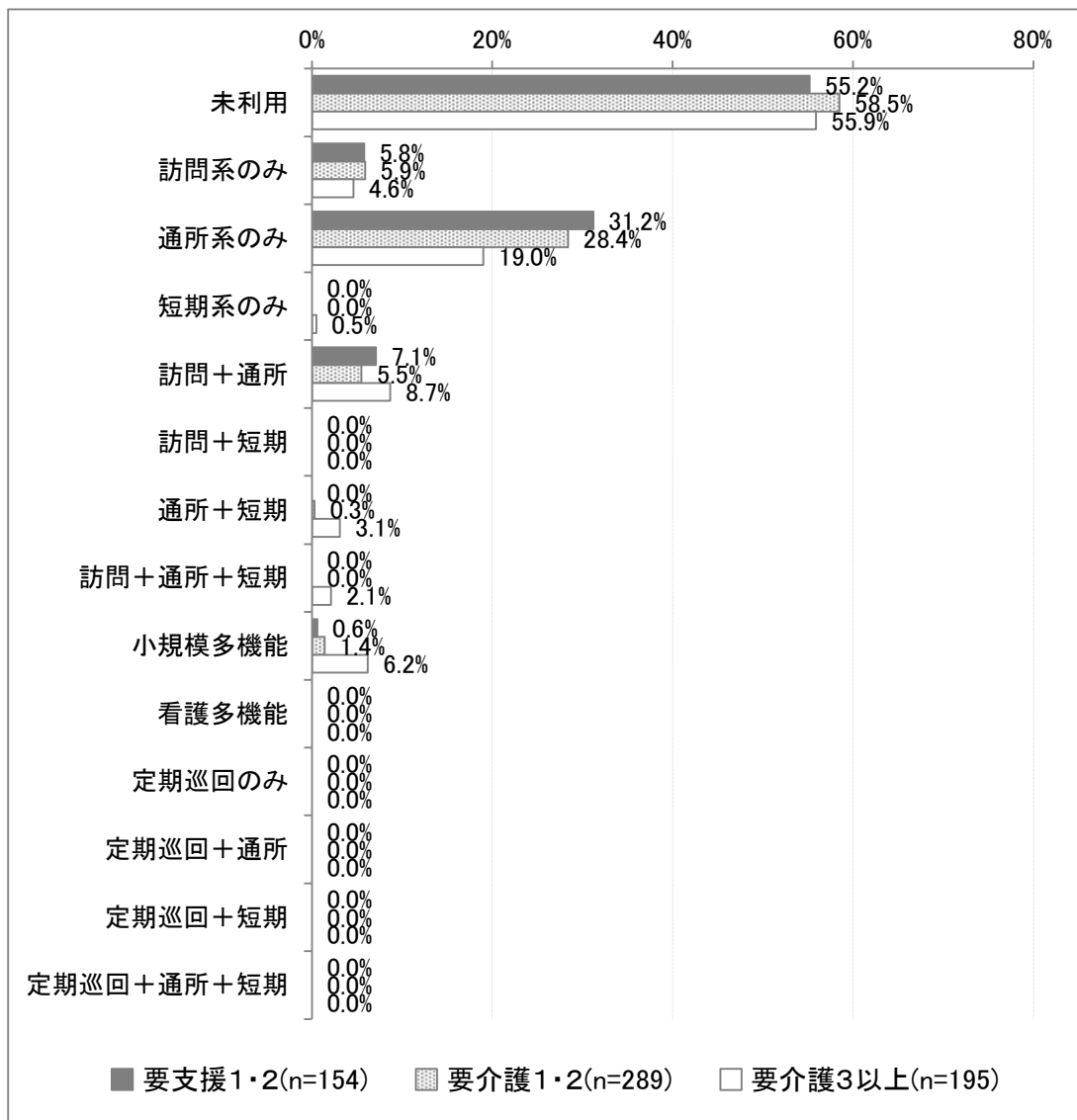
訪問系については、「訪問系のみ」が 5.5%、「訪問＋通所」が 6.9%、「訪問＋短期（入所）」が 0.0%であり、訪問系サービスの利用率が低いことがわかる。



要介護度別に見ると、いずれも「未利用」は高くなっている。

「通所系のみ」の利用率は要支援1・2、要介護1・2では約3割、要介護3以上で約2割となっている。

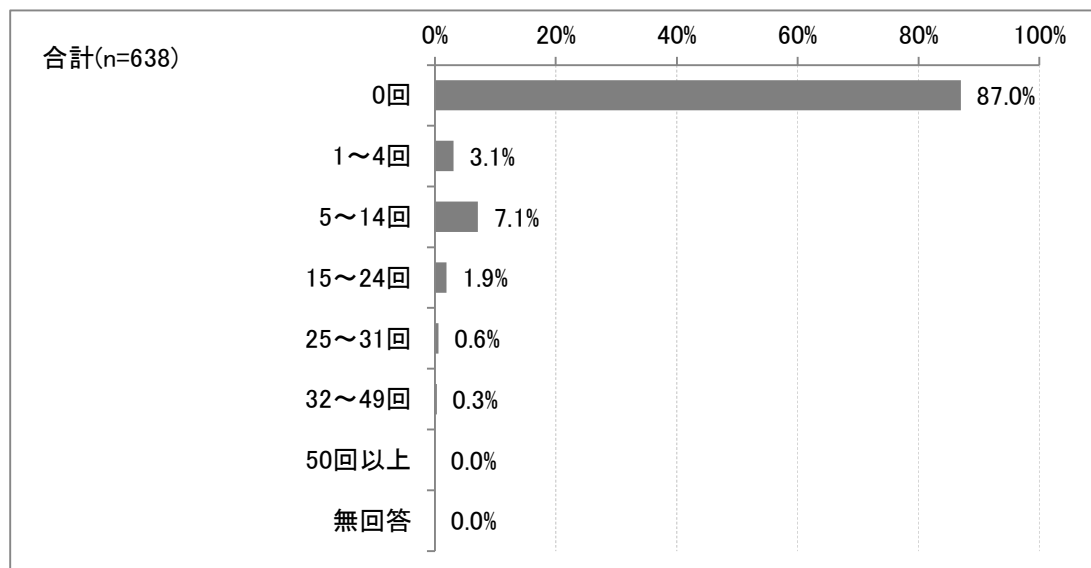
要介護度別・サービス組み合わせ



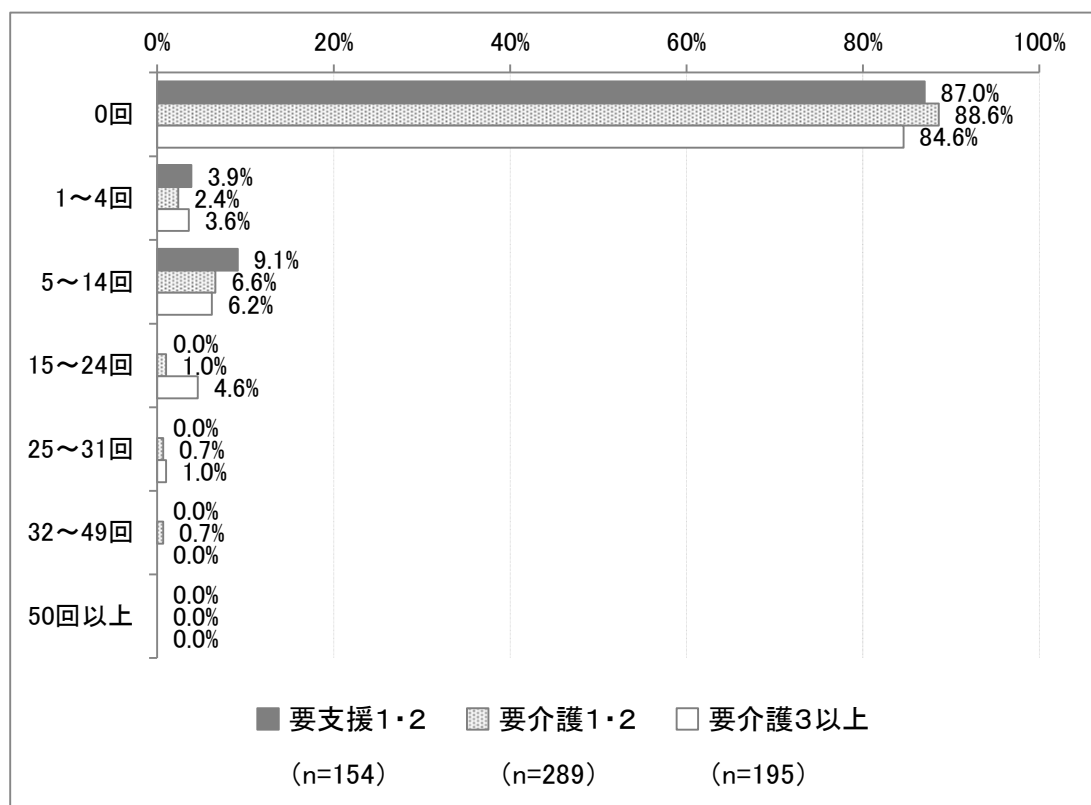
⑰訪問系サービス利用回数

訪問系サービスの月あたりの利用回数を見ると、「0回」が87.0%で圧倒的に高い。利用者では「1～4回」が3.1%、「5～14回」が7.1%であり、15回以上の利用は1%ほどにとどまっている。要介護度別での利用回数にも大差はない。

訪問系サービス利用回数



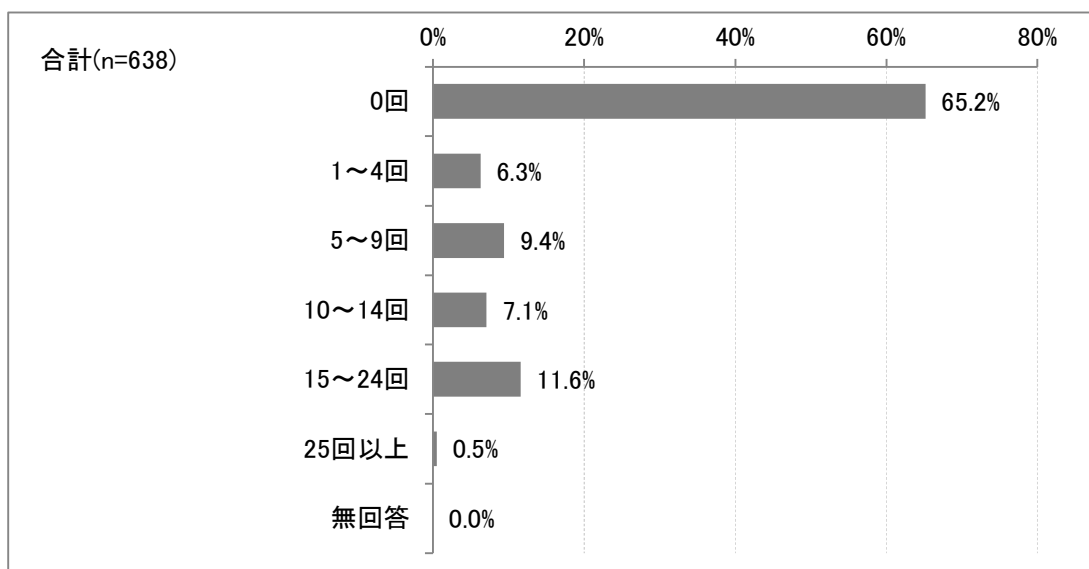
要介護度別・訪問系サービス利用回数



⑮通所系サービス利用回数

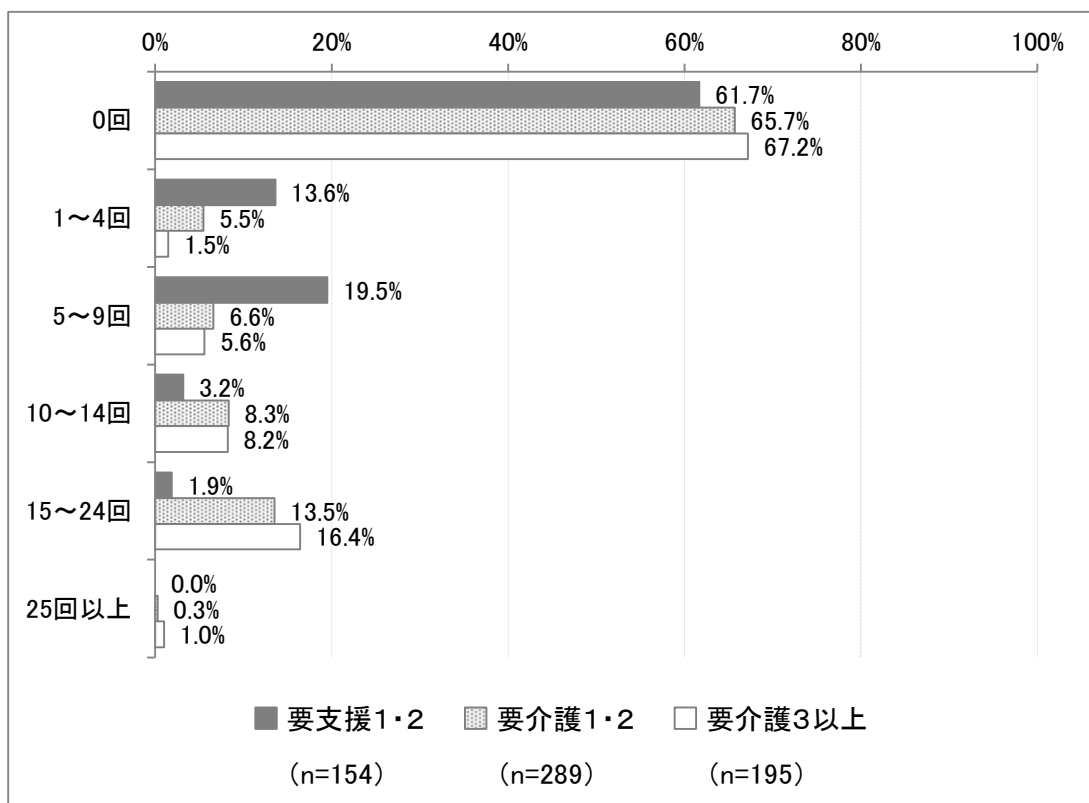
通所系サービスの月あたりの利用回数を見ると、「0回」が65.2%で最も高い。利用者では月15回～24回が11.6%、5～9回が9.4%、10～14回が7.1%の順で高い。

通所系サービス利用回数



通所系サービス利用者の利用回数を要介護度別に見ると、「5～9回」までは要支援1・2で高いが、「10～14回」以上では要介護3以上が最も高い。中重度の要介護者では、頻回な利用が見られる。

要介護度別・通所系サービス利用回数

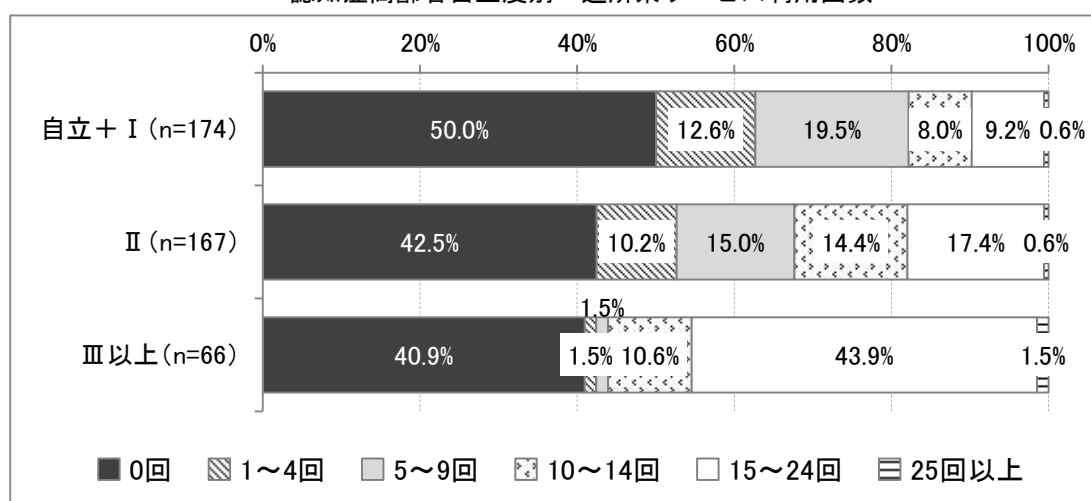


通所系サービス利用者の利用回数では、10 回以上の頻回な利用が多い。頻回な利用は、どのような人で多くなっているか見ると、

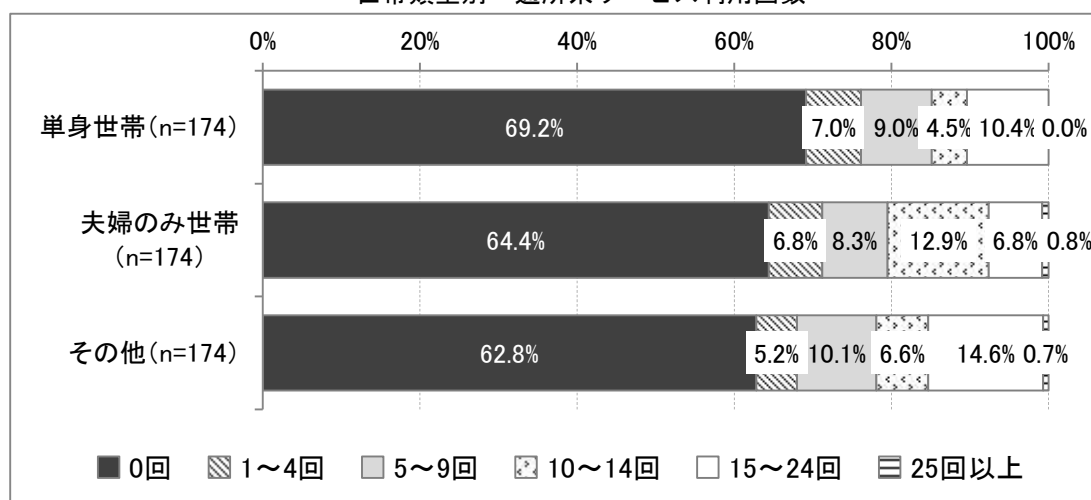
- ・要介護度：要介護 3 以上（25.6%）
- ・認知高齢者自立度：Ⅲ以上（日常生活上困難さが見られる）（56.0%）
- ・世帯類型：単身世帯やその他世帯（三世帯世帯等）（20%前後）
- ・施設入所希望：すでに入所申請済み（30.9%）
- ・検討理由：在宅介護者の負担軽減のため（31.2%）
- ・住まい別：有料老人ホーム居住者（57.1%）

このような傾向が見られた。特に重度者・認知症状の重度者、施設入所を申請又は希望している人が多いことや、有料老人ホーム利用者での頻回な利用が見られた。特に、要介護 3 以上で入居している方での頻回な利用が多い。今回の集計結果を踏まえながら、通所系サービスを頻回利用している実情をより把握し、課題解決の施策を検討する必要がある。

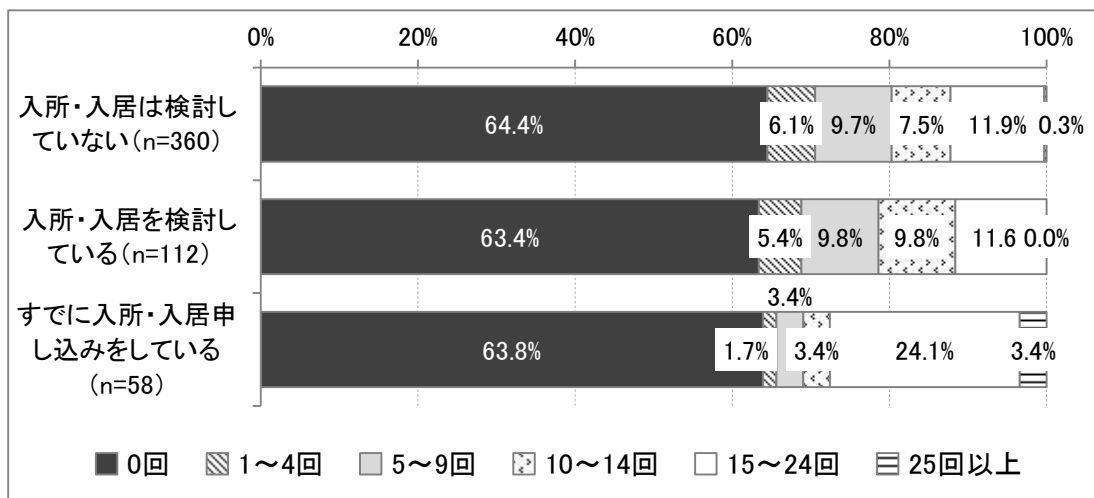
認知症高齢者自立度別・通所系サービス利用回数



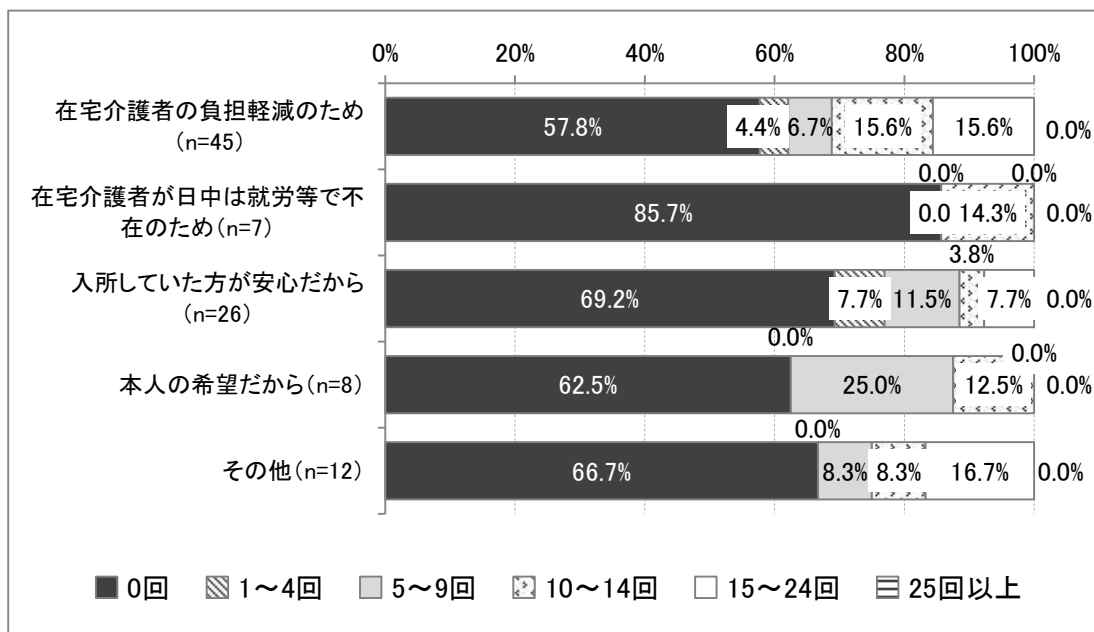
世帯類型別・通所系サービス利用回数



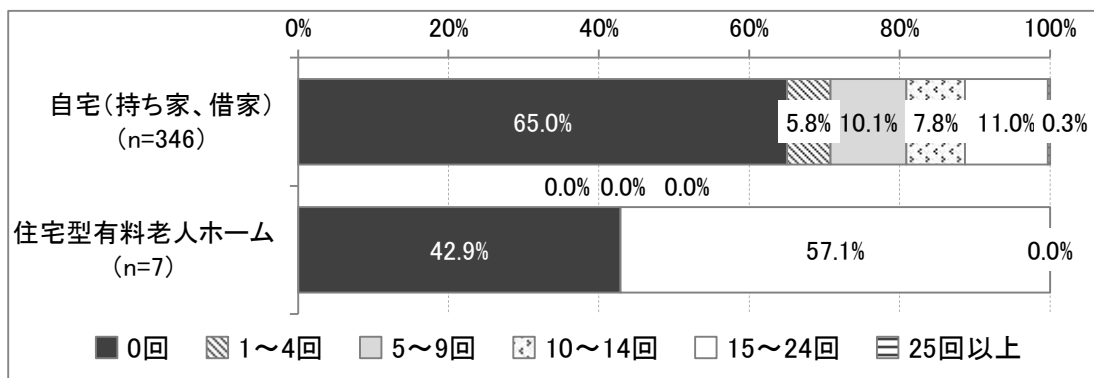
施設等検討の状況別・通所系サービス利用回数



施設等に入所・入居の検討理由別・通所系サービス利用回数



現在の住居別・通所系サービス利用回数



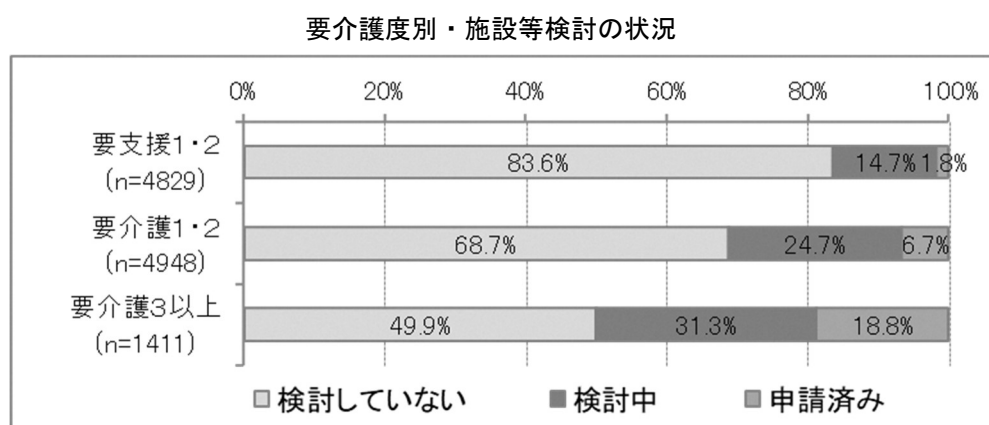
※サービス付き高齢者住宅の回答はありませんでした。

(2) 施設等検討の状況

①全国（R2在宅介護実態調査の集計結果（全国集計【10万人以上30万人未満】）より）

◎「施設等に申請済み」の割合は、要介護3以上で18.8%

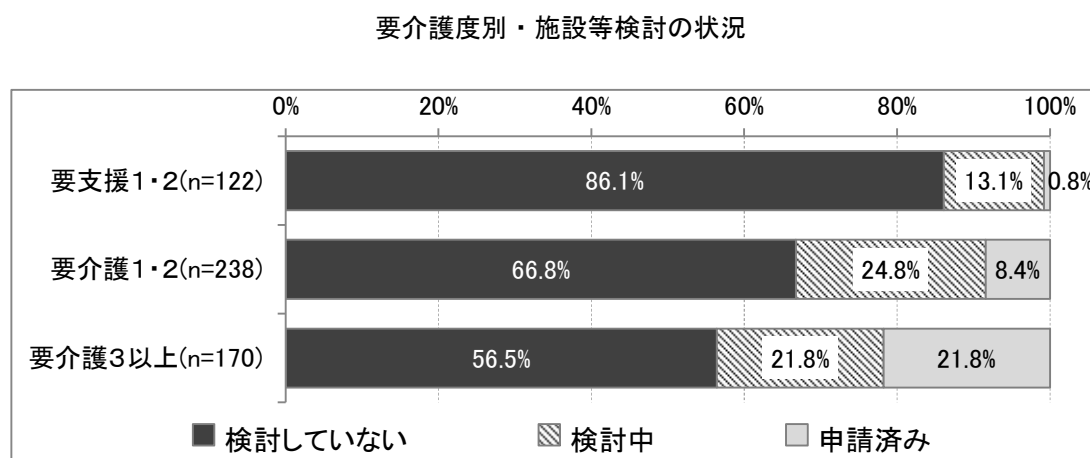
- ・全国の要介護度別の「施設等検討の状況」を見ると、要介護3以上では要介護度の重度化に伴い「申請済み」の割合が高くなっており、18.8%となっている。
- ・なお、「検討していない」の割合の減少幅は、要支援1・2（83.6%）から要介護1・2（68.7%）になる段階で▲14.9ポイント、要介護1・2から要介護3以上（49.9%）になる段階で▲18.8ポイントとなっている。



②-1市の調査結果では……

市の要介護度別の「施設等検討の状況」では、要介護3以上では「申請済み」が21.8%となっている。

「検討していない」については、要支援1・2や要介護1・2では全国と同程度の割合ですが、要介護3以上は56.5%で、全国の49.9%を6.6ポイント上回っている。

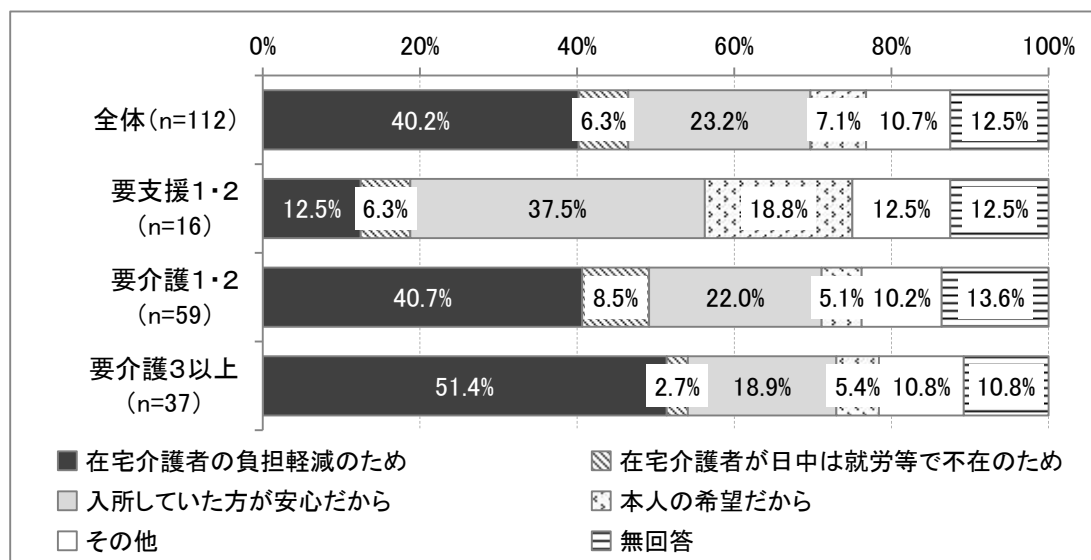


②-2 施設等検討理由（市の調査結果）

施設入所の検討理由を見ると、最も高いのは「在宅介護者の負担軽減のため」の40.2%で、「入所していた方が安心だから」の23.2%がこれに次いで高い。

要介護度別に見ると、要介護度が上がるにつれて「在宅介護者の負担軽減のため」が高くなっていく。要介護1・2では「入所していた方が安心だから」の37.5%が最も高くなっている。

要介護度別・施設等検討の理由



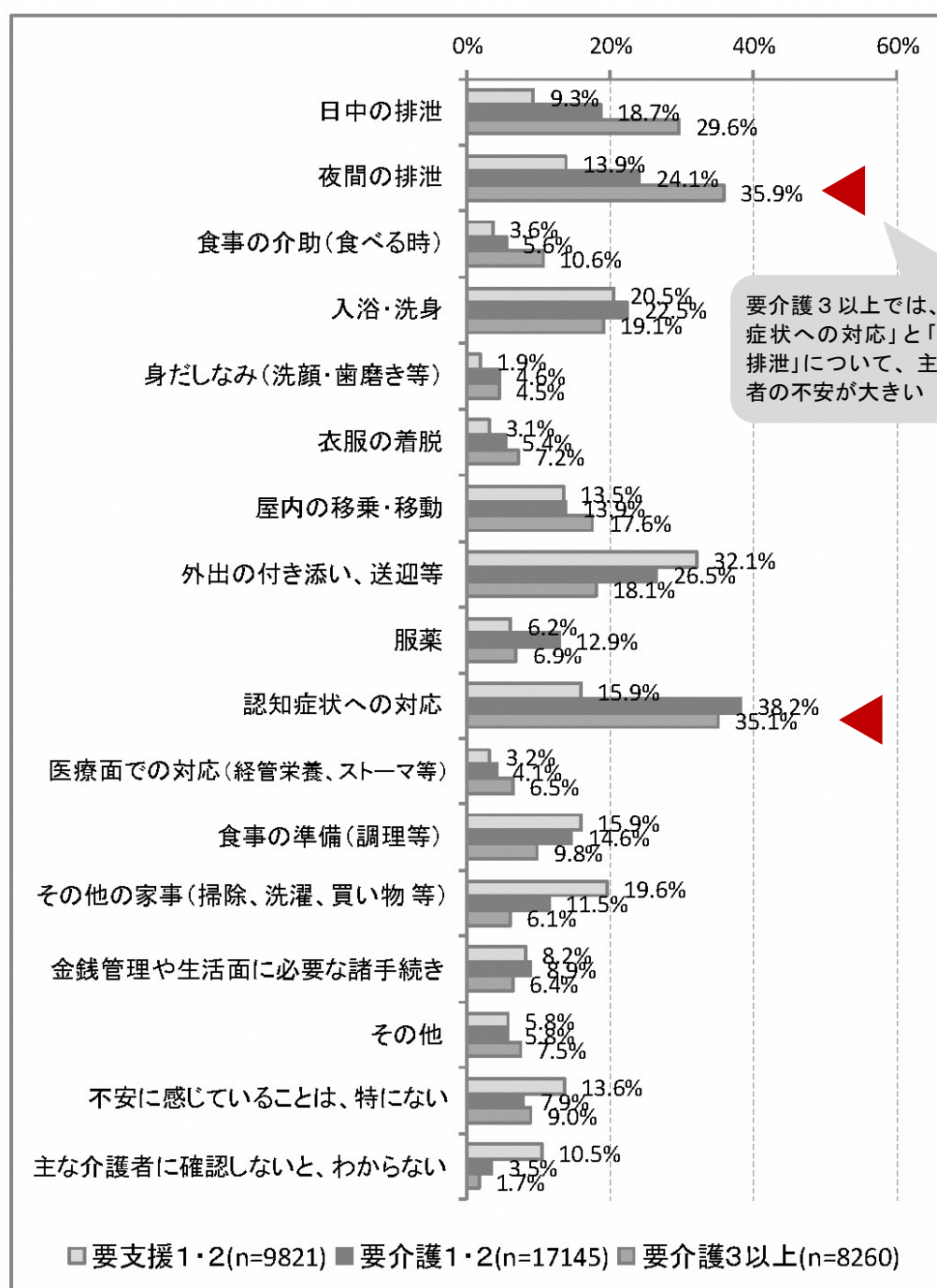
(3) 介護者が不安に感じる介護

①全国（R2在宅介護実態調査の集計結果(全国集計【10万人以上30万人未満】）より）

◎主な介護者が不安を感じる介護は、要介護3以上では「夜間の排泄」「認知症状への対応」

- ・「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護」について、要介護3以上では、特に「夜間の排泄」と「認知症状への対応」で、主な介護者の不安が大きい傾向となっている。
- ・したがって、要介護3以上では、主な介護者が「在宅生活の継続が困難」と判断する特に重要なポイントとして、「認知症」と「(夜間の)排泄」の2点が挙げられると考えられる。
- ・また「認知症状への対応」については、要介護1・2の方が高くなっている。

要介護度別・介護者が不安に感じる介護

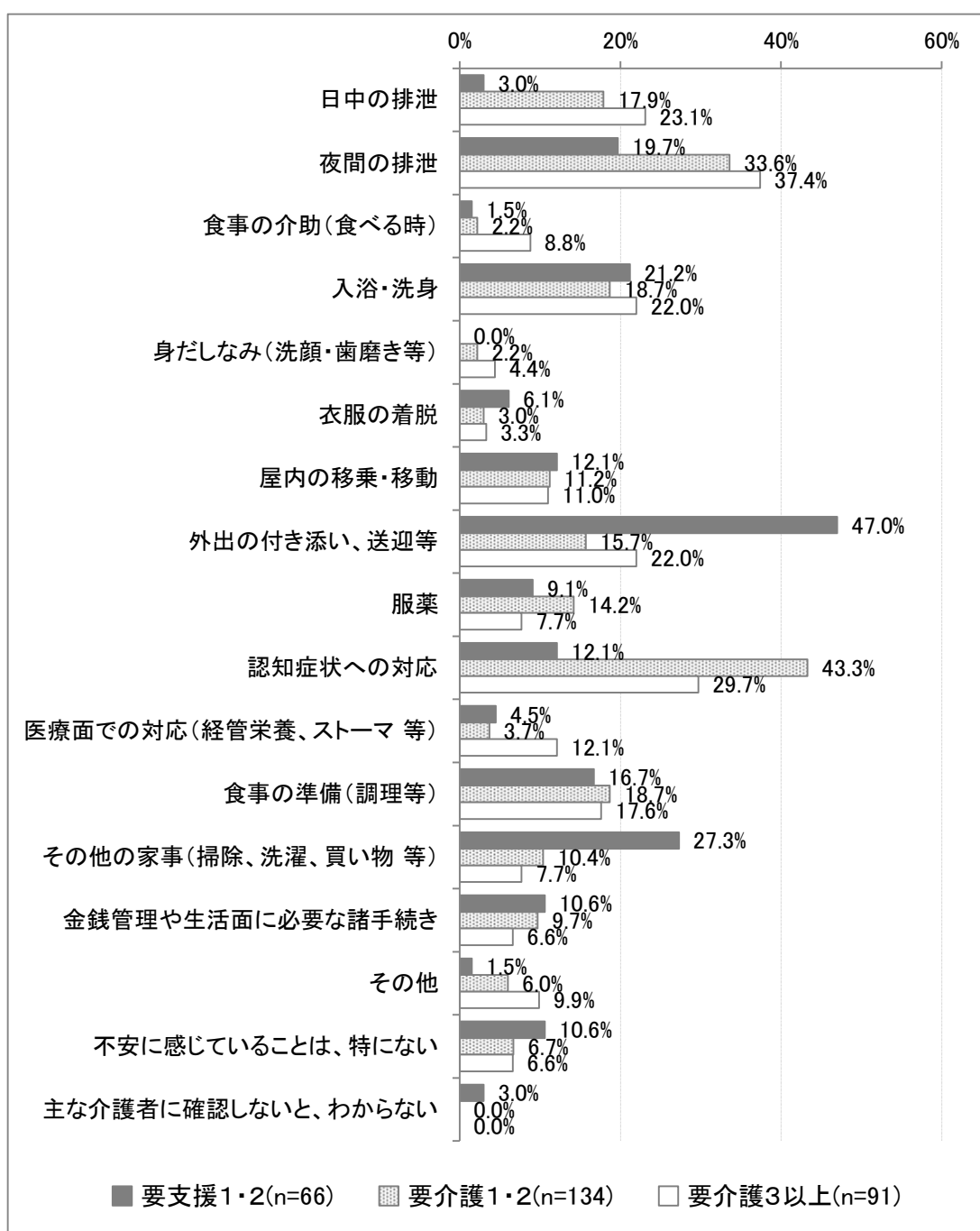


②市の調査結果では……

市では、要介護3以上については「夜間の排泄」が最も高いほか、「日中の排泄」、「認知症状への対応」、「外出の付き添い、送迎等」がこれに次いで高い。また、要介護1・2では「認知症状への対応」が43.3%あり、要介護3以上を13.6ポイント上回っている。要支援1・2では、「外出の付き添い、送迎等」が47.0%と最も高く、全国比で14.9ポイント高くなっている。

在宅介護において、要介護3以上を抱える家庭だけではなく、要介護1・2や要支援1・2を抱える家庭でも、それぞれ特徴となる不安を抱えていることがわかる。

要介護度別・介護者が不安に感じる介護

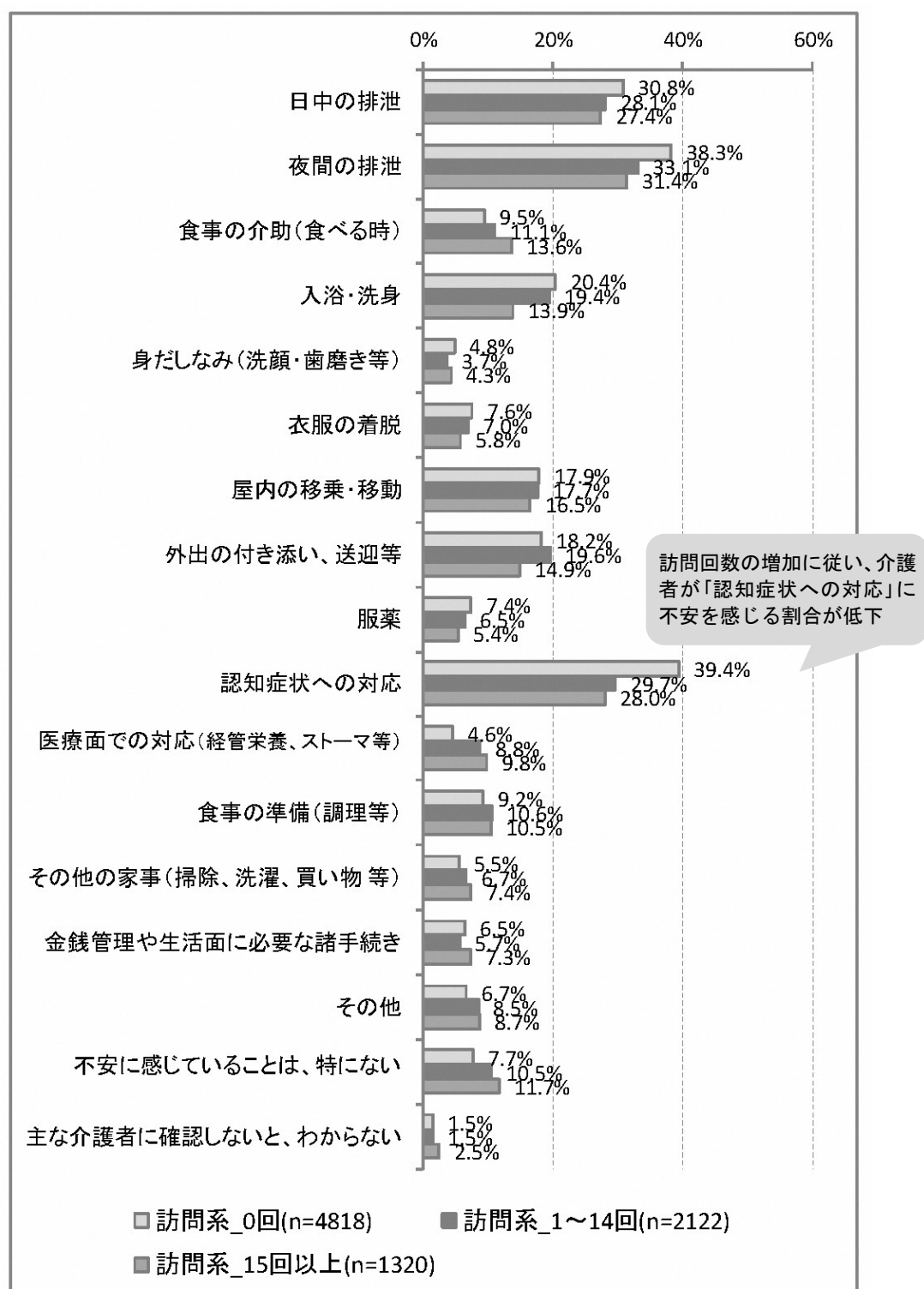


(4) 介護者が不安を感じる介護（サービス利用回数別）

①全国（R2在宅介護実態調査の集計結果(全国集計)より）

- ◎「訪問回数の増加」に伴い、介護者の「認知症状への対応」「夜間の排泄」の不安が軽減
 ・「介護者が不安を感じる介護」と「訪問系サービスの利用回数」の関係を見ると、訪問系サービスの利用回数の増加とともに、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」について、介護者の不安が軽減する傾向がみられた。

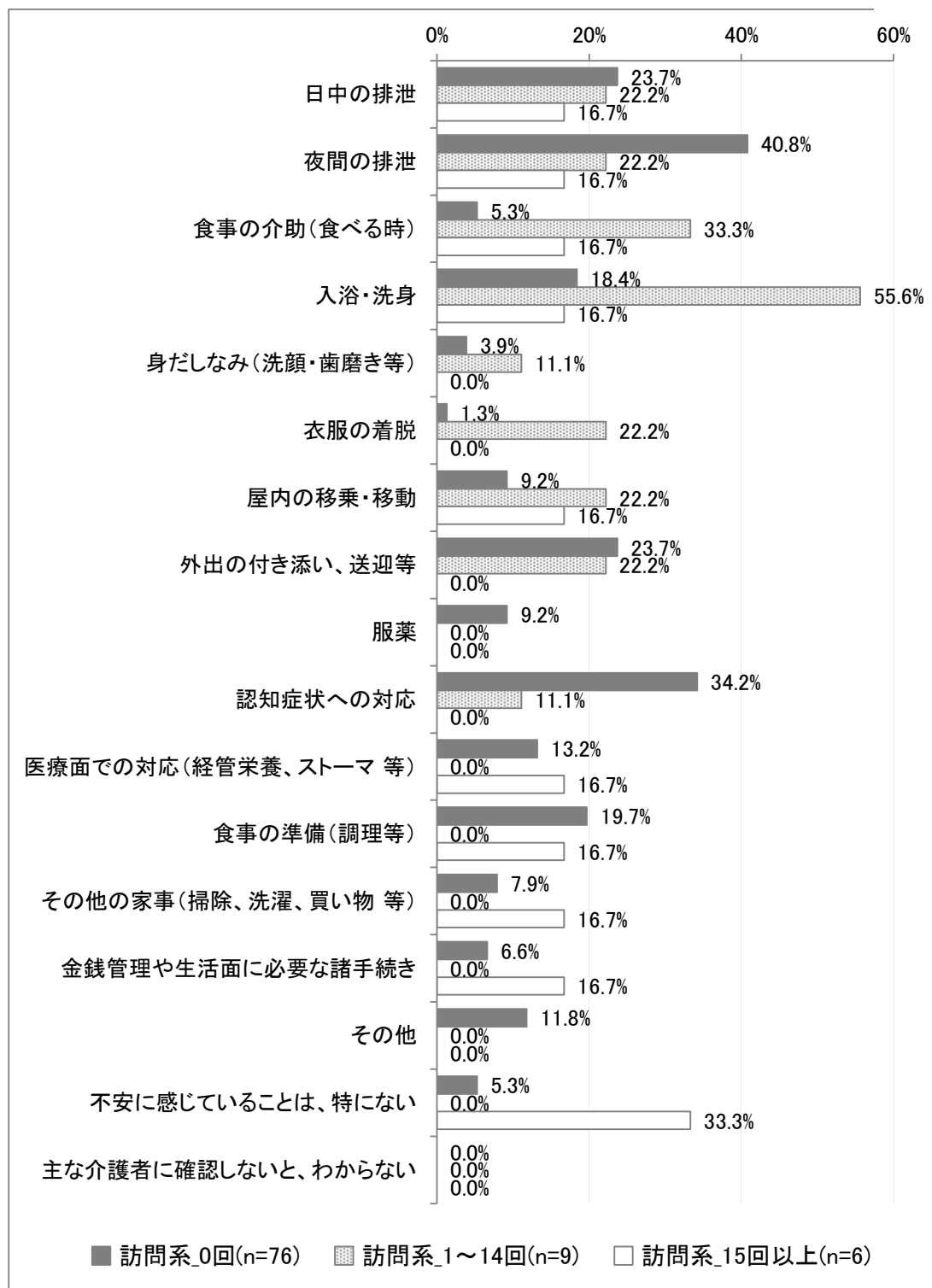
サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



②市の調査結果では……

市では、訪問系サービス利用者のサンプル数が少ないため参考値として見るが、利用回数が少ないほど「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」などで不安を感じている割合が高くなっている。

サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



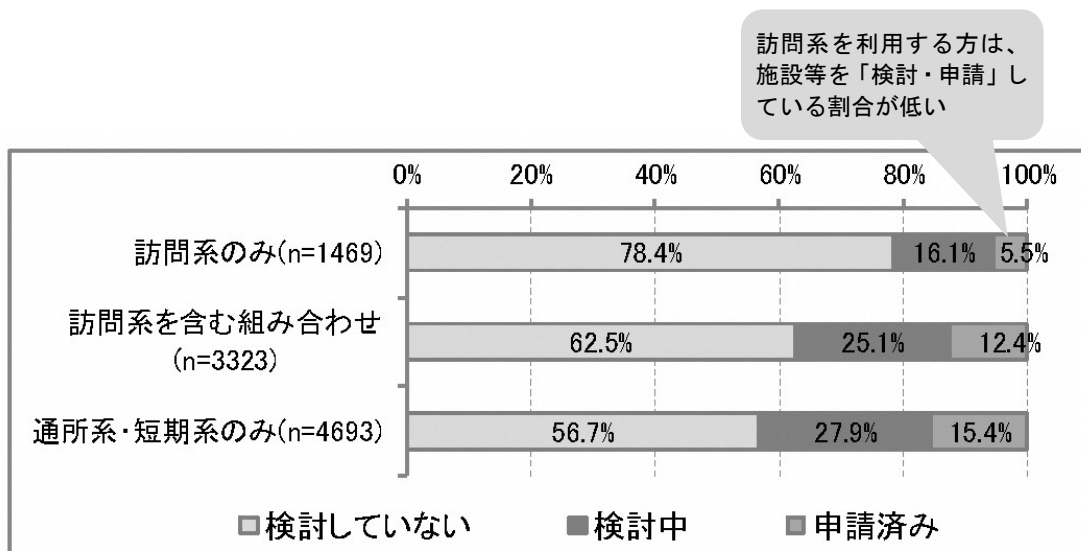
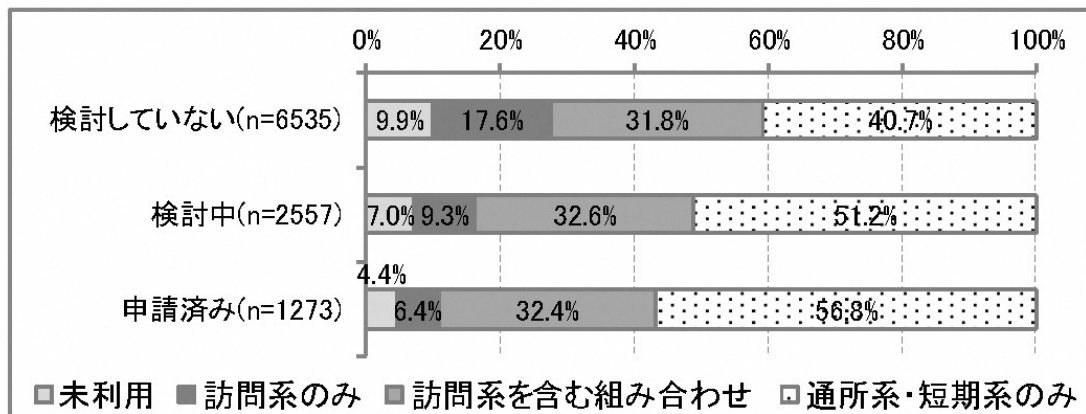
(5) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況

①全国（R2在宅介護実態調査の集計結果(全国集計【10万人以上30万人未満】）より）

◎「訪問系」サービスを利用する方は、「施設等の検討・申請割合」が低い

- ・「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係をみると、訪問系サービスを利用する方は、「施設等の検討・申請割合」が低い傾向がみられる。
- ・なお、特に「訪問系のみ」のケースで、施設等を「検討していない」の割合が高くなっている。

サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）

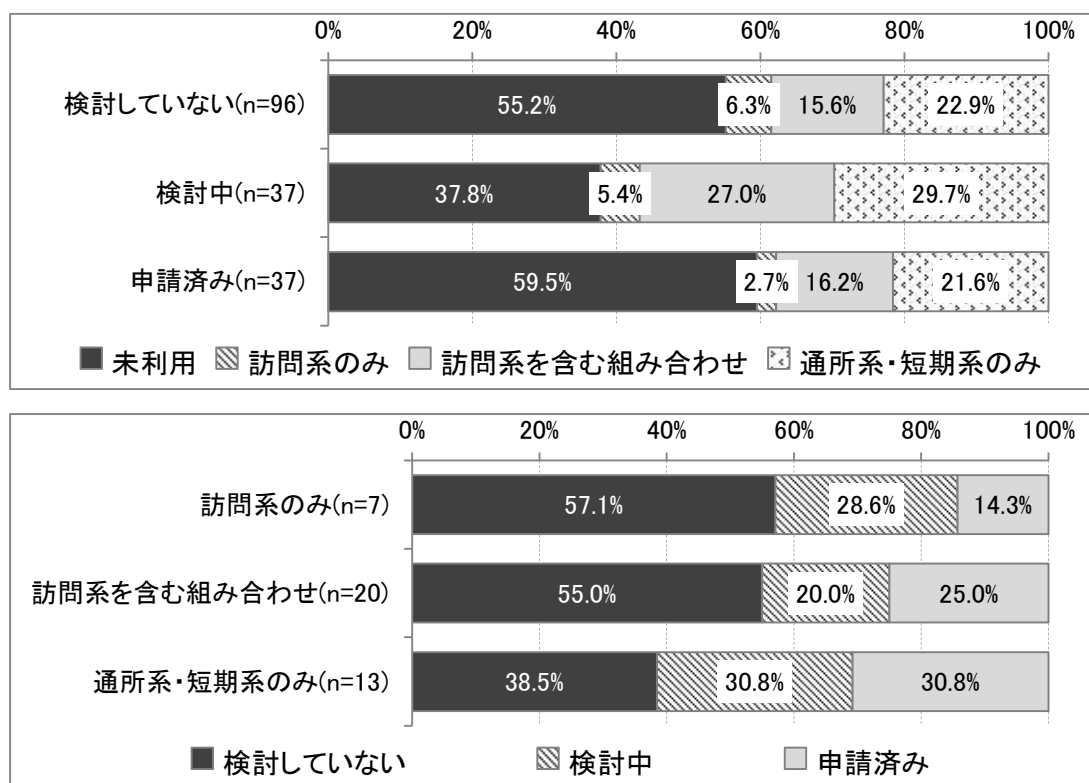


②市の調査結果では……

市では、訪問系サービス利用者のサンプル数が少ないため参考値として見るが、「訪問系」サービス利用者での「申請済み」は2.7%と低くなっている。

また、「訪問系のみ」では、全国と同様に施設入所を「検討していない」割合が57.1%で最も高くなっている。市の訪問系利用者では他サービス利用者より施設入所意向が低い。

サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



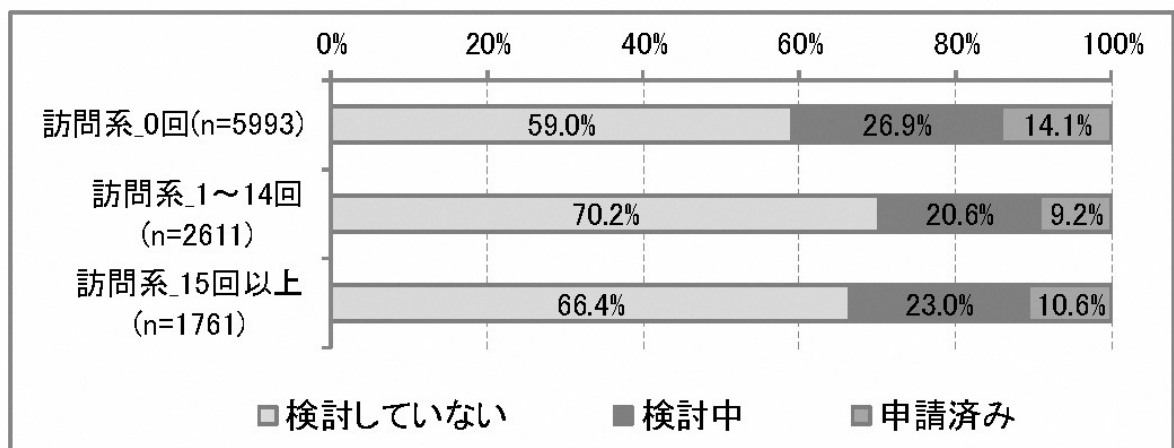
(6) 訪問系サービスの利用回数と施設等検討の状況

①全国（R2在宅介護実態調査の集計結果(全国集計【10万人以上30万人未満】）より）

◎施設等を「検討していない」方は、「訪問系」の利用回数が多い傾向

- ・「施設等検討の状況」と「訪問系サービス利用の回数」の関係をみると、施設等を「検討していない」方は、「訪問系」の利用回数が多い傾向となっている。

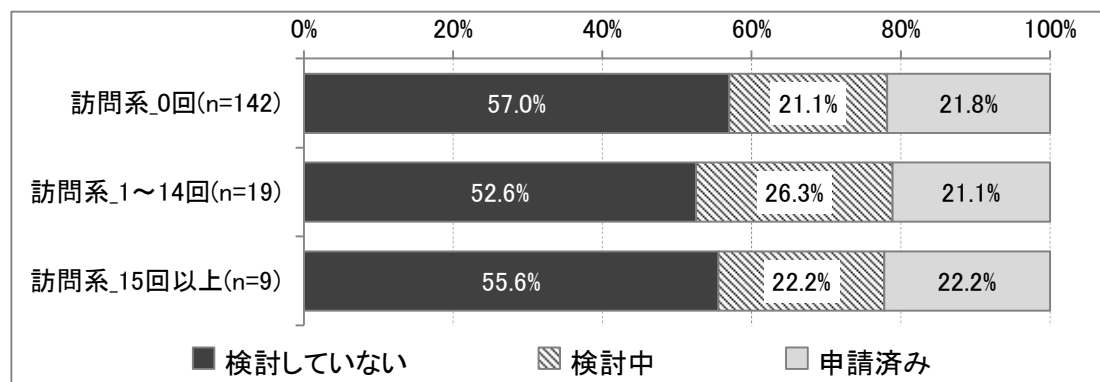
訪問系サービスの利用回数と施設等検討の状況（要介護3以上）



②市の調査結果では……

市では、訪問系サービス利用のサンプル数が少ないため参考値として見るが、「施設等検討の状況」と「訪問系サービス利用の回数」の関係をみると、施設等に「申請済み」の方では、「訪問系0回」は21.8%、「訪問系1～14回」は21.1%、「訪問系15回以上」は22.2%と、回数に限らず、施設等入所申請済みが2割いいた。

訪問系サービスの利用回数と施設等検討の状況（要介護3以上）



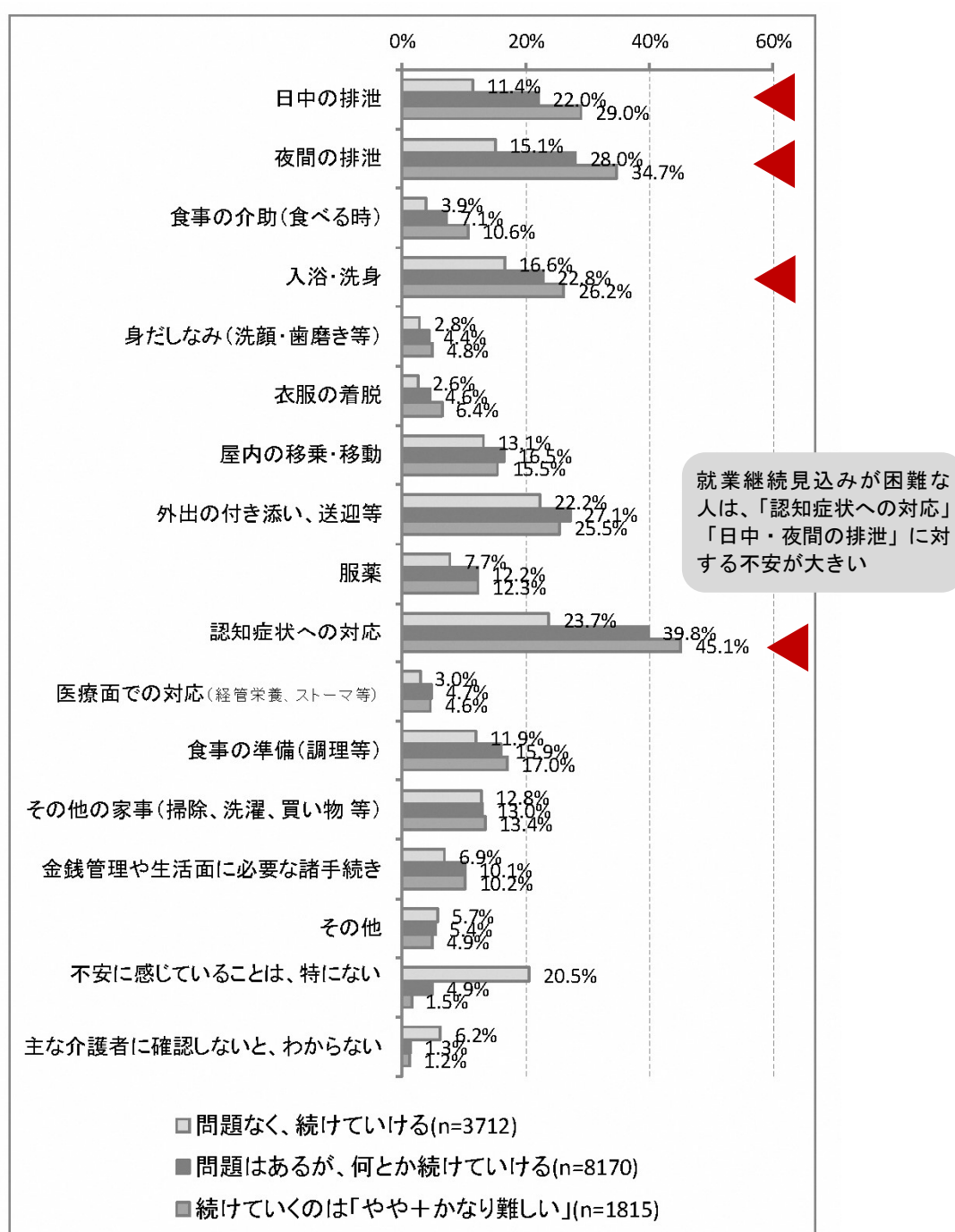
(7) 介護者が不安に感じる介護（就労継続見込み別）

①全国（R2在宅介護実態調査の集計結果（全国集計【10万人以上30万人未満】）より）

◎就業継続が困難と考える介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」「日中・夜間の排泄」が高い傾向。

- ・「就労の継続の意向」と、「今後の在宅生活継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護」の関係を見ると、就労継続が難しいと感じるにしたがって、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」「日中の排泄」等について、不安に感じる割合が高くなる傾向がみられた。
- ・これらの介護が「在宅生活を継続しながらの就労継続」について、介護者が可否を判断するポイントとなっている可能性がある。

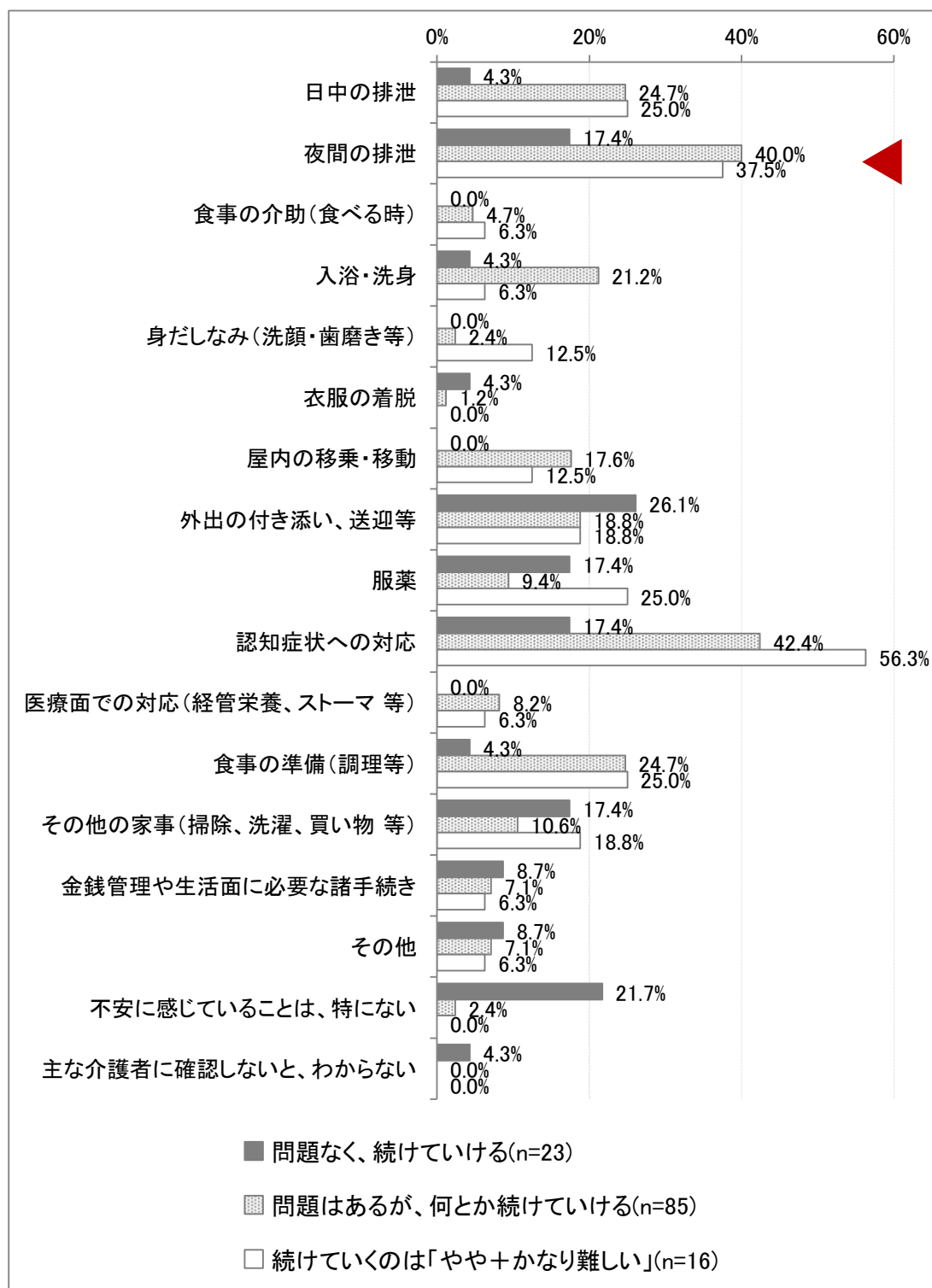
就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



②市の調査結果では……

市では、就労継続が困難と考える介護者が不安に感じる介護は、全国と同様に「認知症状への対応」、「夜間の排泄」が高くなっている。特に「認知症状への対応」を不安に感じる介護者が多い。在宅介護を継続する上では、介護者への認知症支援策(要介護1・2を対象とするもの、要介護3以上を対象とするもの)が重要となる。また、「夜間の排泄」では要介護3以上で不安に感じる割合が高く、夜間対応型の訪問等も必要と考えられる。

就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

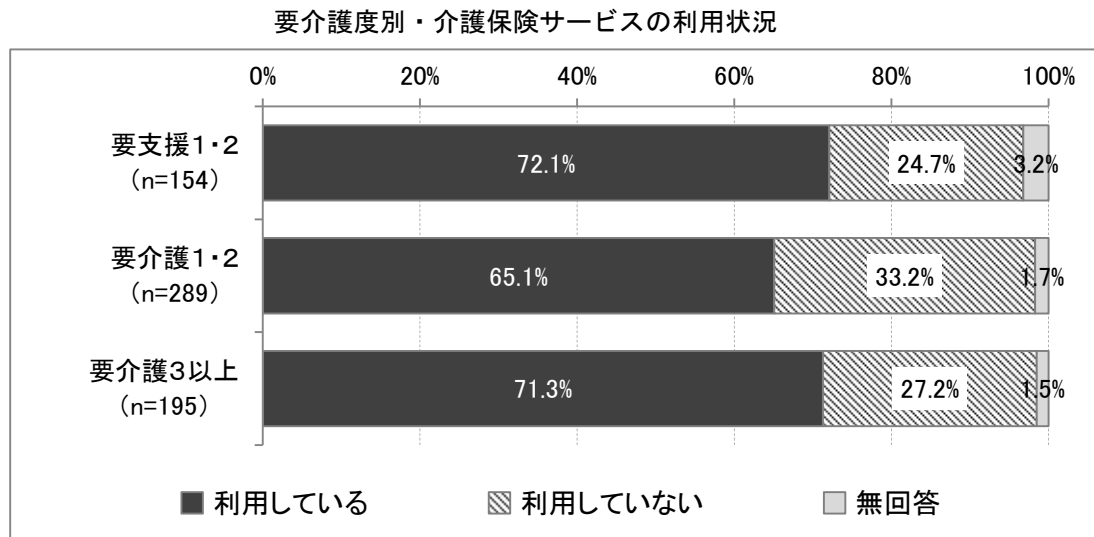


(8) 介護保険サービスの利用

①-1 介護保険サービスの利用状況（市の調査結果）

介護保険サービスを「利用している」は72.1%と7割となっている。

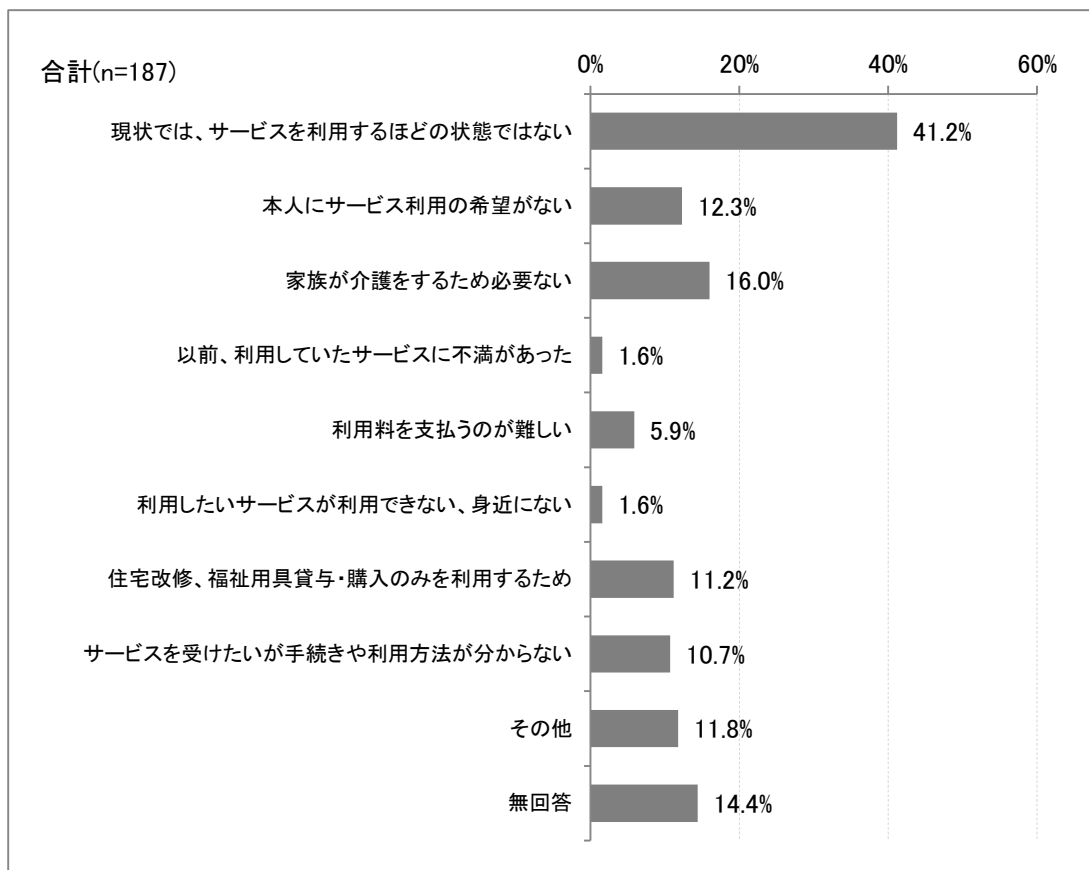
要介護度別に見ると、要介護3以上では71.3%を占めている。（ここでは、住宅改修、福祉用具の利用以外での介護保険サービスについて利用有無を聞いている）



①-2 介護保険サービスを利用していない理由（市の調査結果）

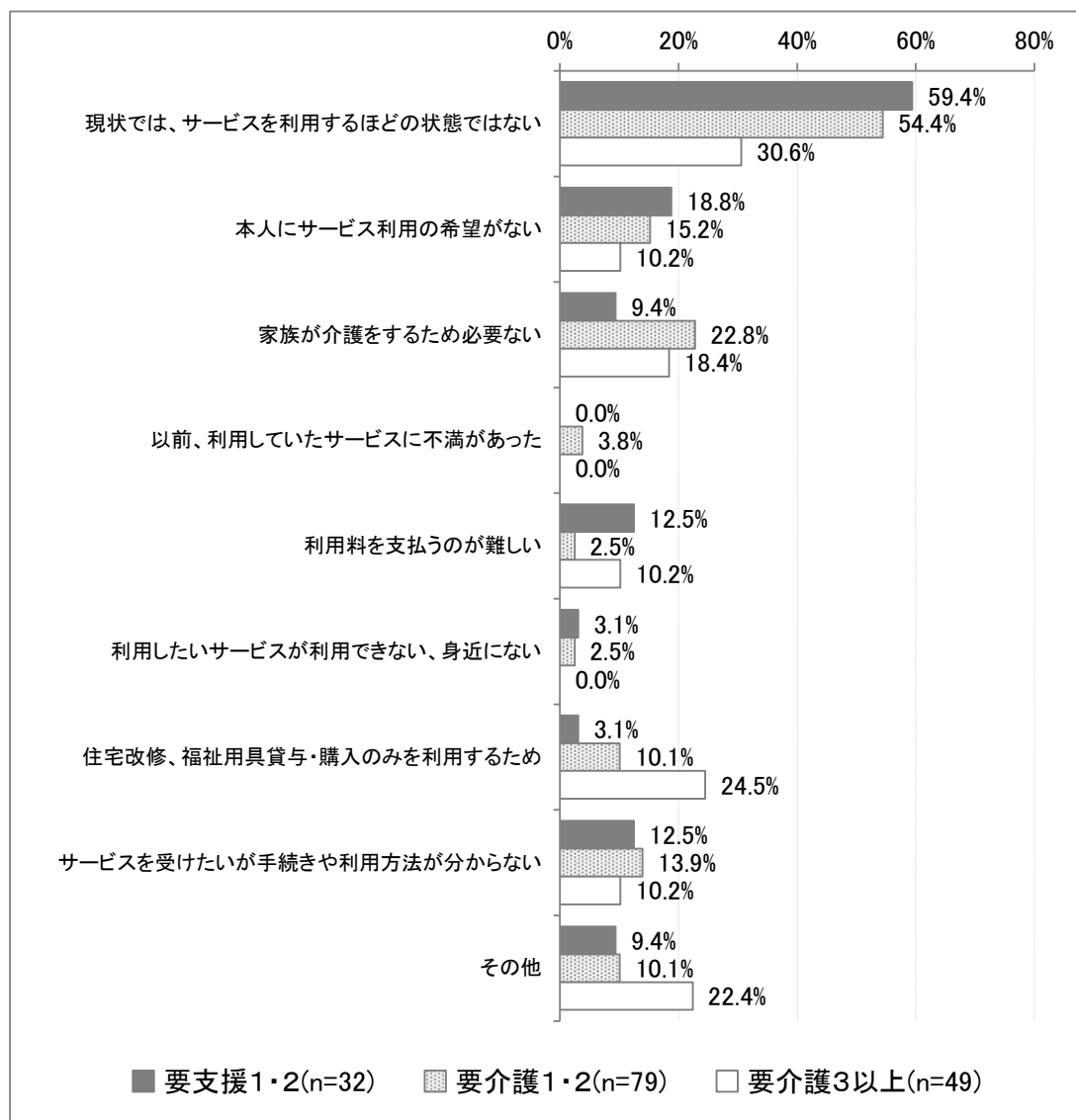
サービスを利用していない理由では「現状ではサービスを利用するほどの状態ではない」が41.2%で最も高い。これに「家族が介護をするため必要ない」、「本人にサービス利用の希望がない」が続いている。

介護保険サービスを利用していない理由



要介護度別に見ると、要支援１・２、要介護１・２ともに「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高くなっている。

要介護度別・介護保険サービスを利用していない理由

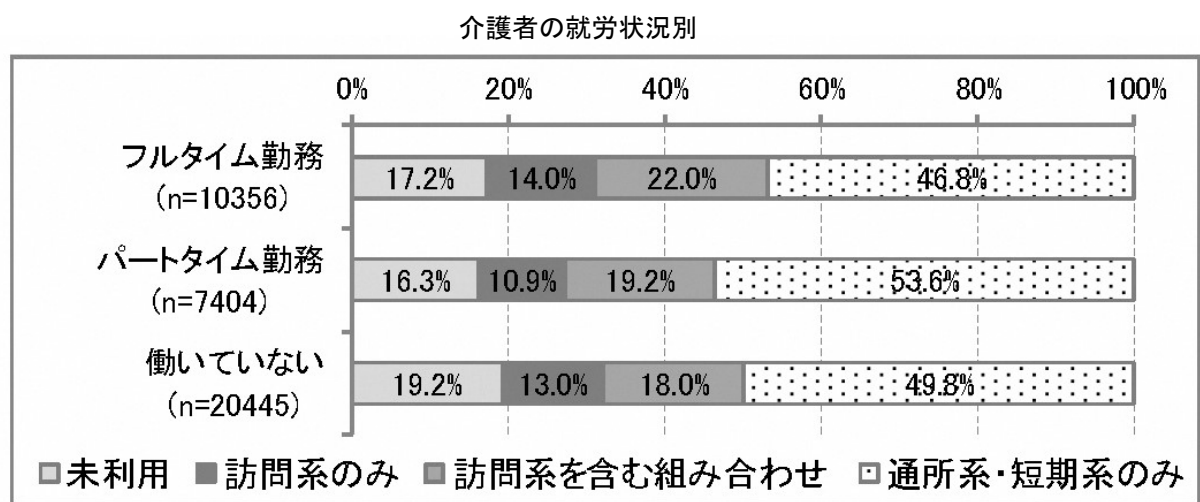


(9) サービス利用の組み合わせ（介護者の就労状況別）

①全国（Ｒ２在宅介護実態調査の集計結果(全国集計【10万人以上 30万人未満】)より)

◎「通所系・短期系のみ」の利用が半数程度を占めるが、フルタイム勤務・パートタイム勤務では「訪問系を含む組み合わせ」が20%程度ある。

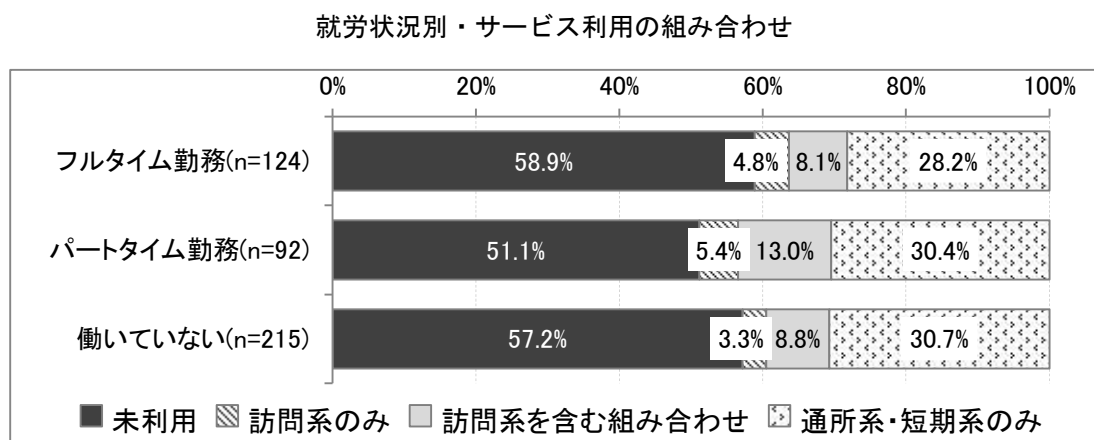
- ・全国では、利用している介護保険サービスの組み合わせを見ると、「通所系・短期系のみ」が50%前後で大半を占めている。また、「訪問系を含む組み合わせ」が、フルタイム勤務で22.0%、パートタイム勤務で19.2%あり、20%程度が訪問系を組み合わせたサービス利用をしている。



②市の調査結果では……

市では、全国状況と異なり、未利用がどの就労状況でも5割に達している。

パートタイム勤務が他の就労状況よりも高い点は共通しているが、訪問系サービスの利用が低い要因及び未利用者が多い要因など、市の在宅介護の状況把握を行っていく必要がある。

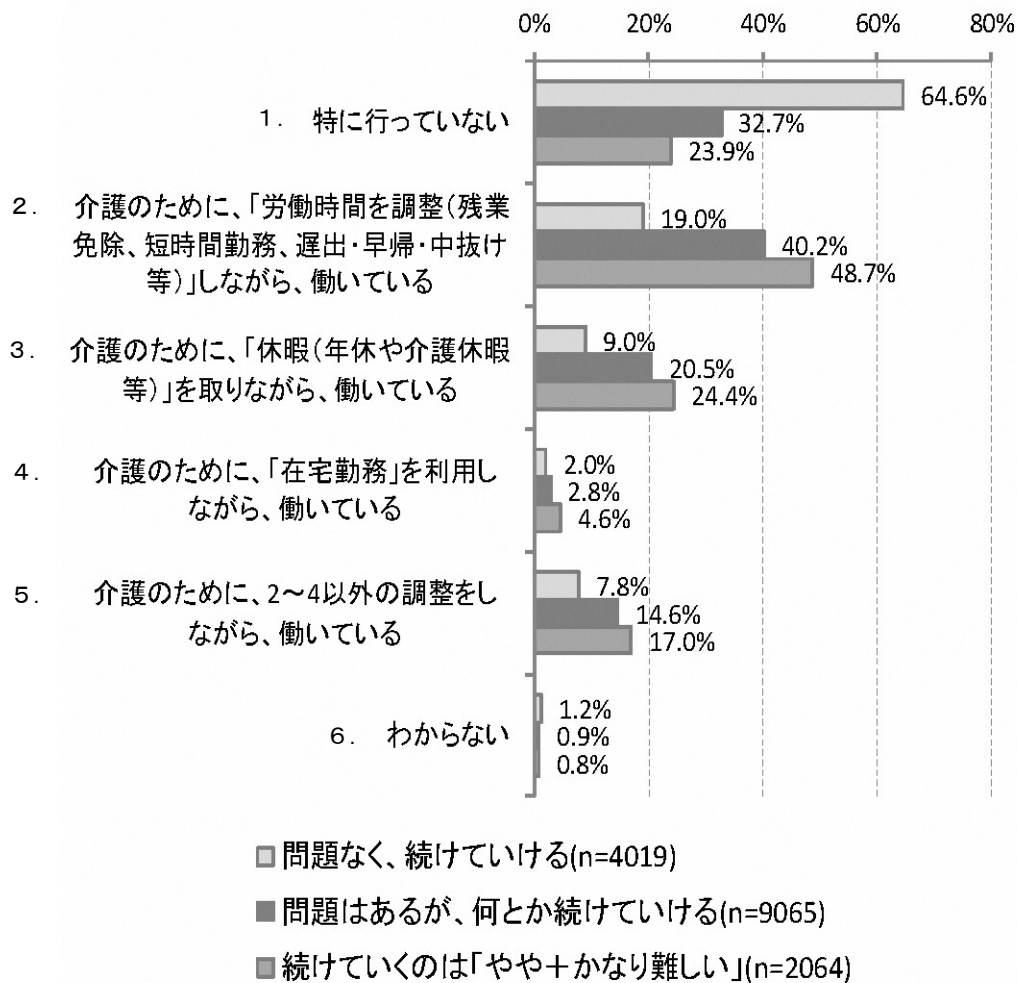


(10) 介護のための働き方の調整（就労継続見込み別）

①全国（R2在宅介護実態調査の集計結果（全国集計【10万人以上30万人未満】）より）

- ・全国では、就業継続可能と考える介護者は、職場において働き方の調整を「特に行っていない」の割合が高い。また、就労継続が難しいと考える介護者では、特に「労働時間の調整」をしながら働いている割合が高い。

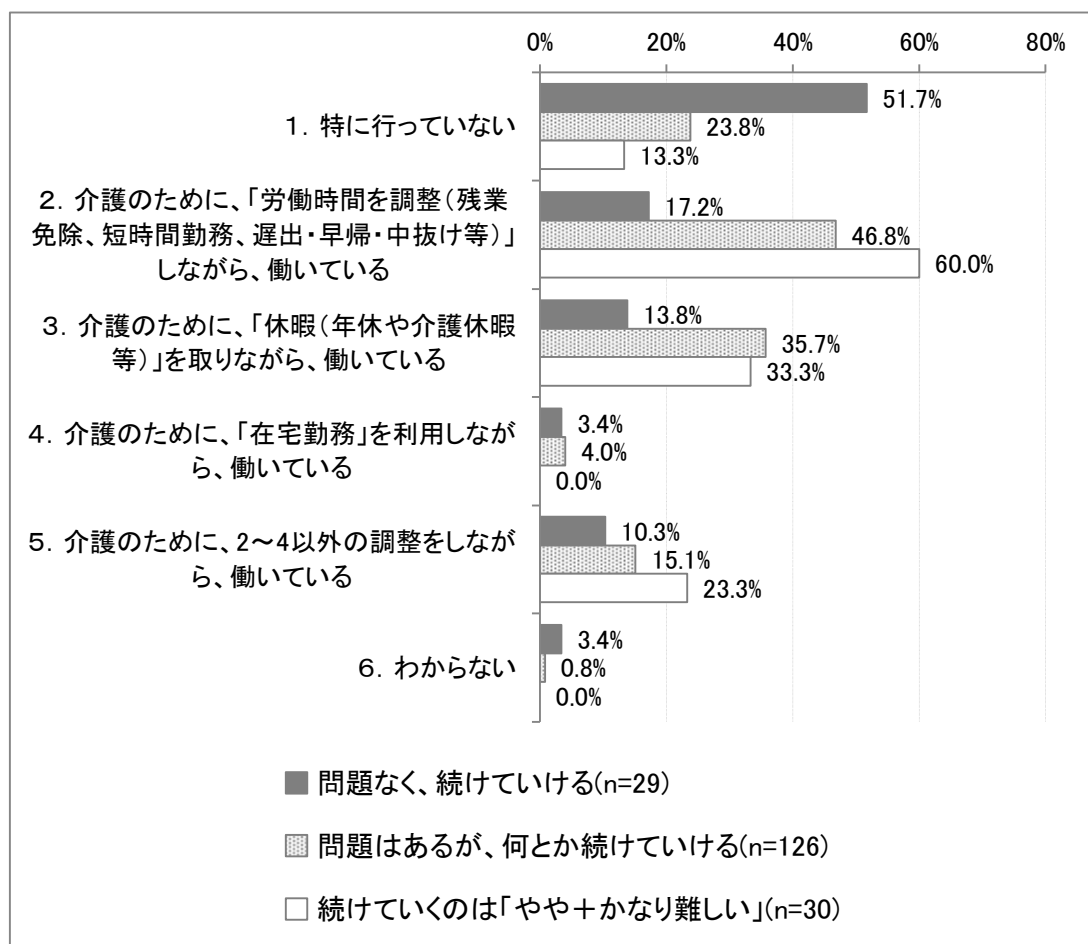
就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



②市の調査結果では……

市では、全国と同様に就業継続可能と考える介護者は、「特に行っていない」が非常に多くなっている。問題はあるがなんとか続けている人や続けていくのは難しいという人では、職場と働き方の調整を行っている割合が高くなっている。しかし、職場と調整しながら働いているにもかかわらず、就労継続が難しいと考える介護者も多く、家族介護者に対する職場の理解のほか、在宅介護を継続するために必要と感ずることを把握する必要がある。

就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



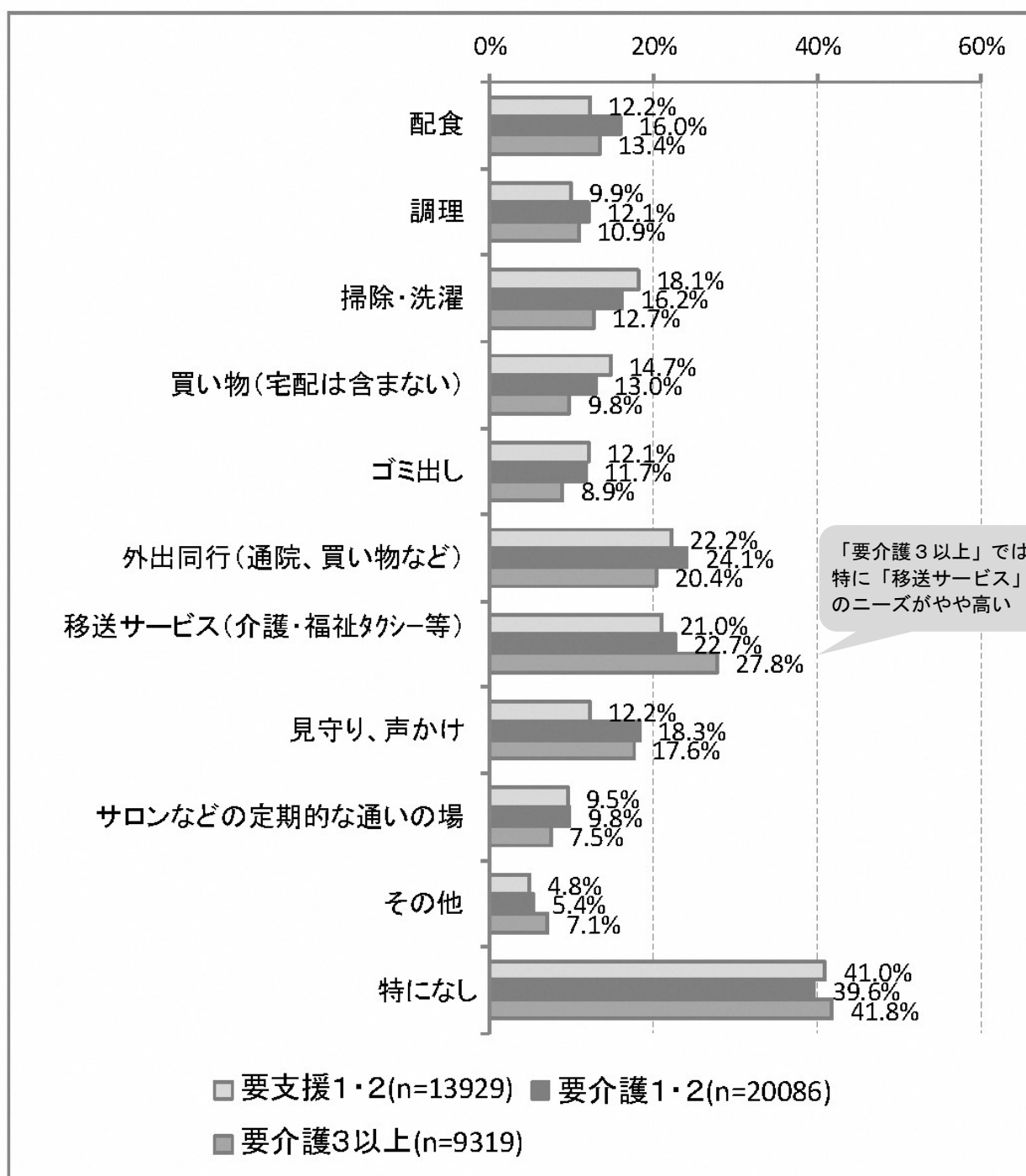
(11) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

①全国（R2在宅介護実態調査の集計結果(全国集計【10万人以上30万人未満】）より）

◎「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」は、要介護3以上では「移送サービス」がやや高い。

・要介護度別の「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」を見ると、「要介護3以上」においては、「移送サービス」のニーズがやや高い傾向がみられる。

要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



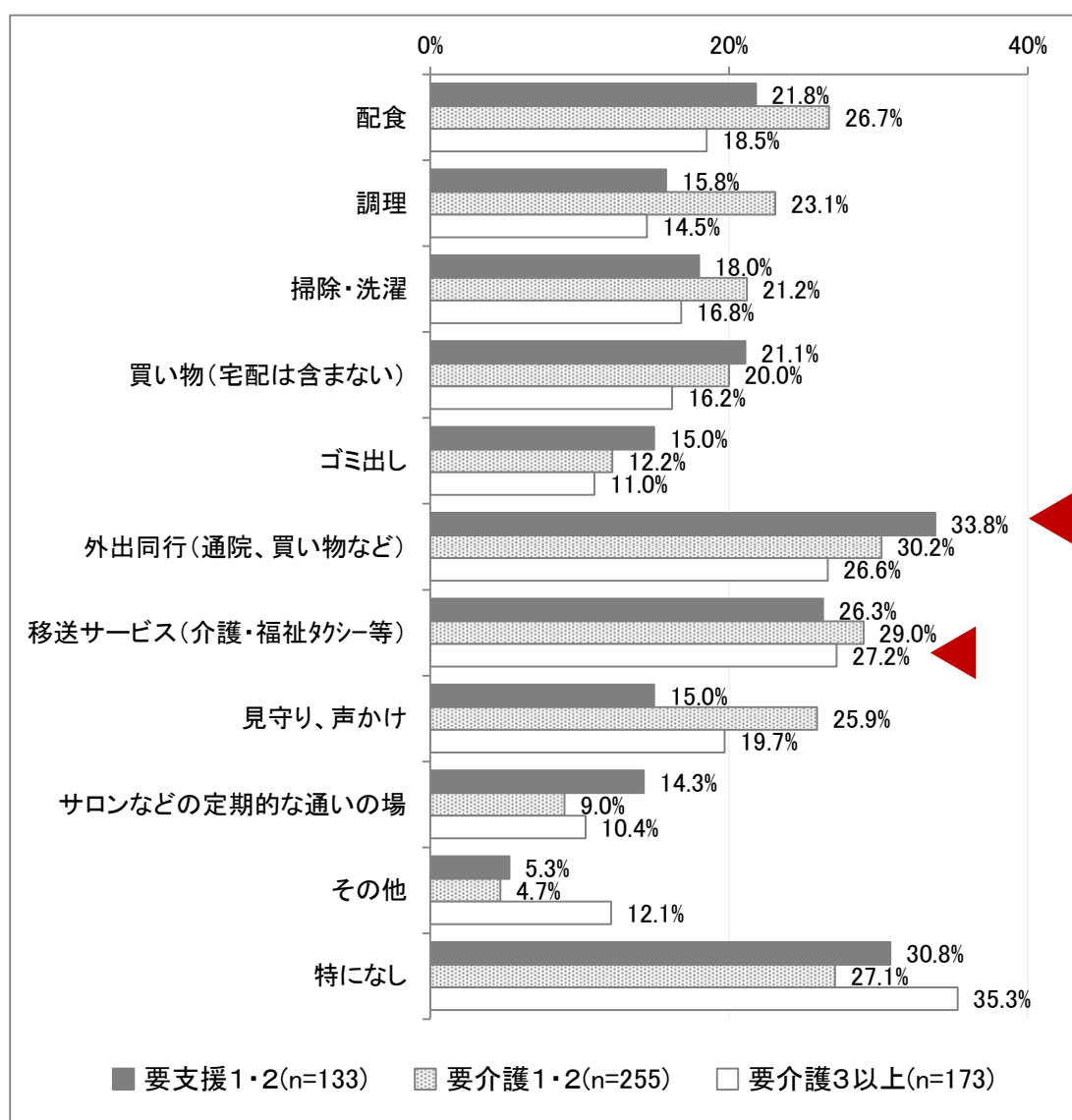
②市の調査結果では……

市でも全国と同様に、「要介護3以上」では「移送サービス」が高くなっている。要介護1・2では、「外出同行(通院、買い物など)」「配食」が高い。

また、「要支援1・2」では、「外出同行(通院、買い物など)」が最も高いが、これに「移送サービス」、「配食」や「買い物(宅配は含まない)」などが続いている。

介護保険サービスと、保険外の支援やサービスを組み合わせながら、軽度のため、中重度のためのそれぞれに適切なサービスの整備等が必要となる。

要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



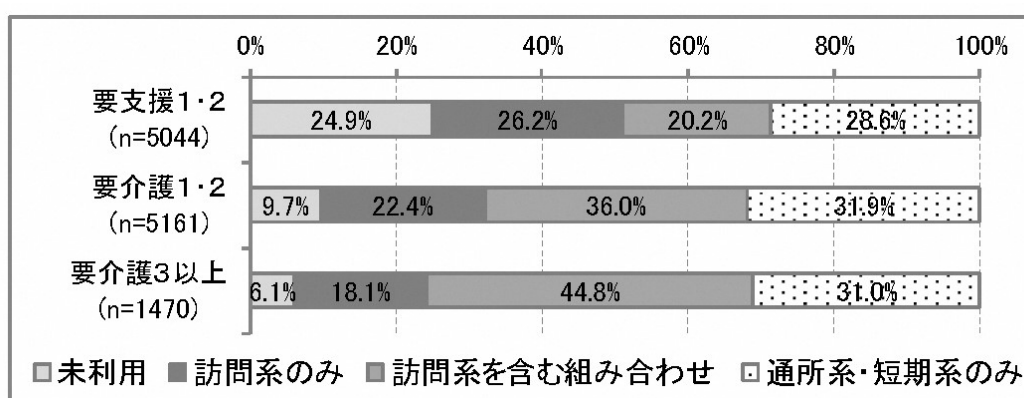
(12) サービス利用の組み合わせ（要介護度別・世帯類型別）

①全国（Ｒ２在宅介護実態調査の集計結果（全国集計【10万人以上30万人未満】）より）

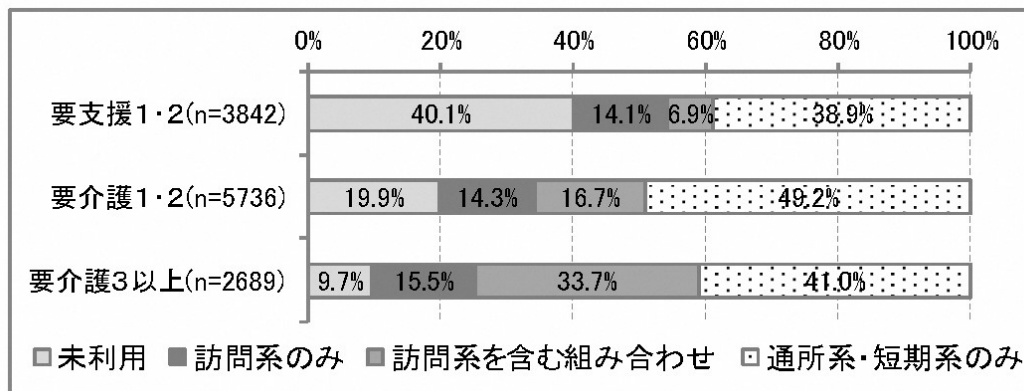
◎要介護度の重度化に伴い、いずれの世帯類型においても「訪問系を含む組み合わせ」が増加

- ・世帯類型別・要介護度別のサービス利用を見ると、要介護度の重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」の割合が増加する傾向がみられた。
- ・このように、現在、在宅で生活している要介護者は、要介護度の重度化に伴い「訪問系サービスを含む組み合わせ」の利用をしていくことで、在宅生活の継続を可能にしていると考えられ、また、いずれの世帯類型についても概ね同様の傾向がみられるといえる。

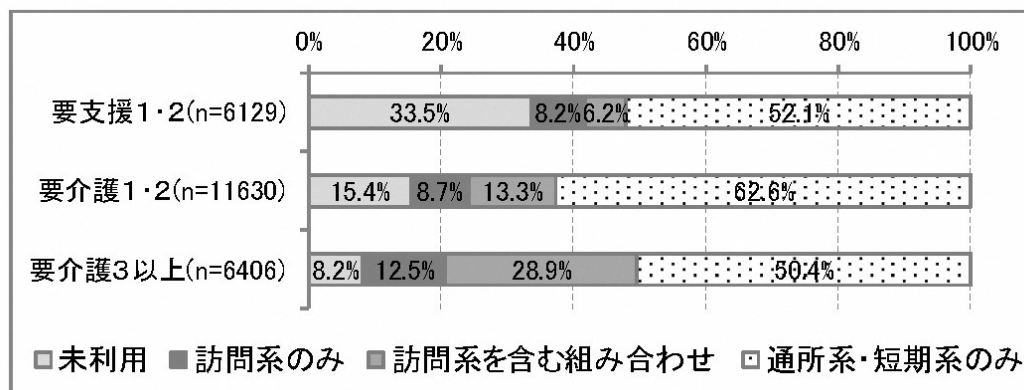
要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



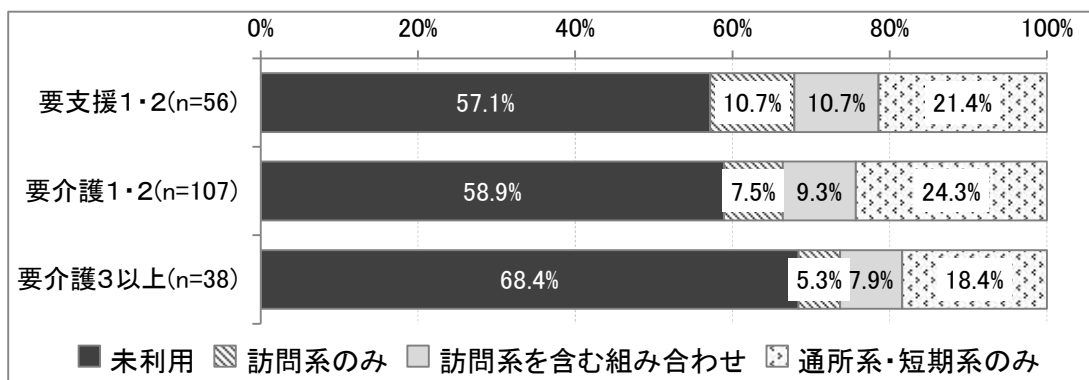
要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



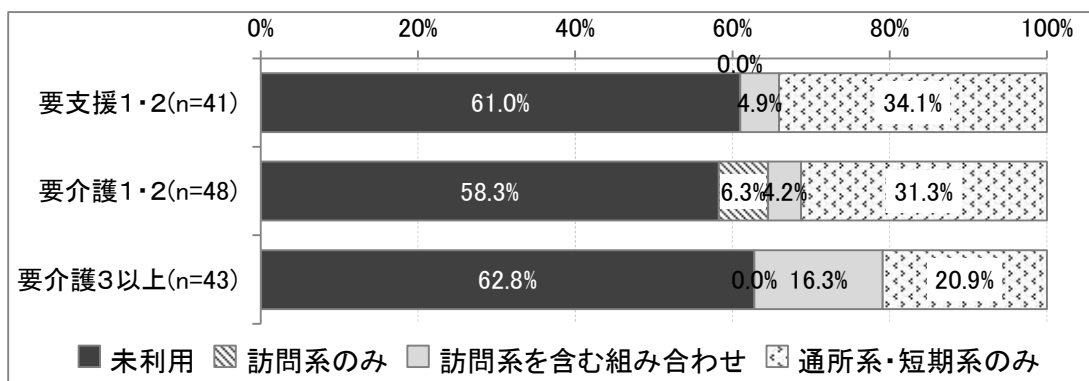
②市の調査結果では……

市では、全国の傾向とは大きく異なり訪問系サービスの利用は非常に少ない。これはどの世帯構成でも同じ傾向が見られる。

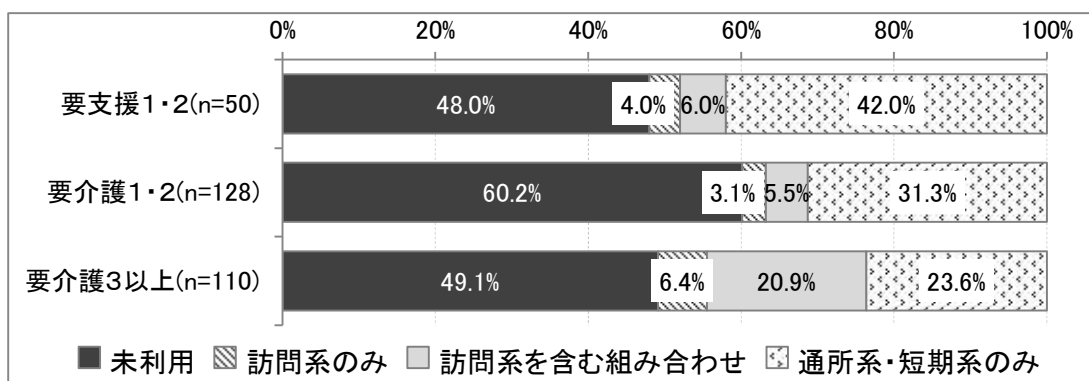
要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



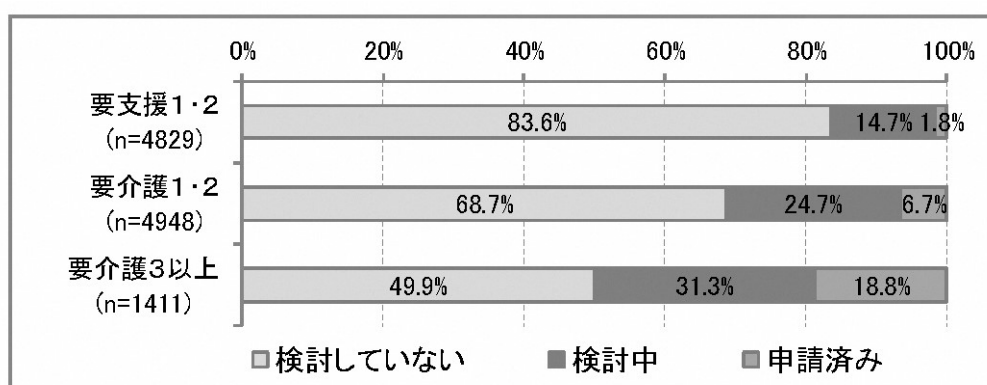
(13) 施設等検討の状況（要介護度別・世帯類型別）

①全国（Ｒ２在宅介護実態調査の集計結果(全国集計【10万人以上30万人未満】)より)

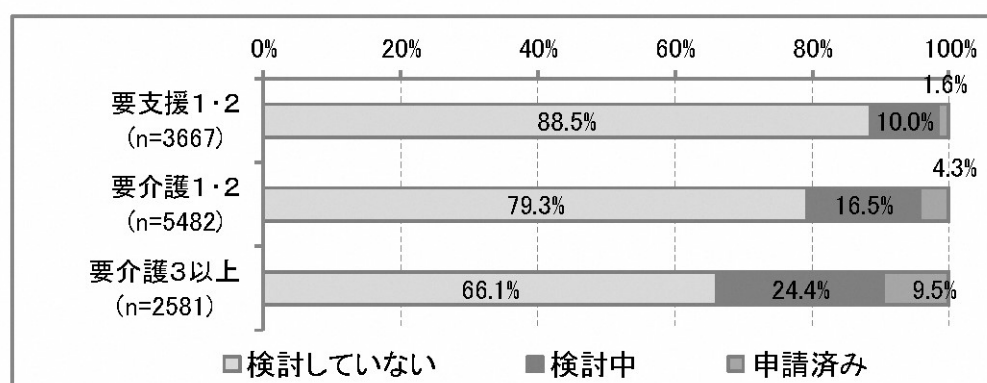
◎全国では、「夫婦のみ世帯」「その他世帯」では、要介護３以上においても「施設等を検討していない」割合が６割を超えているが、単身世帯では５割をきっている。

- ・施設等の検討状況について世帯類型別に見ると、要介護３以上で「検討していない」割合は「単身世帯」では49.9%、「夫婦のみ世帯」は66.1%、「その他世帯」では64.6%である。反対に要介護３以上で「申請済み」は、「単身世帯」が18.8%、「夫婦のみ世帯」が9.5%、「その他世帯」が11.9%となっている。

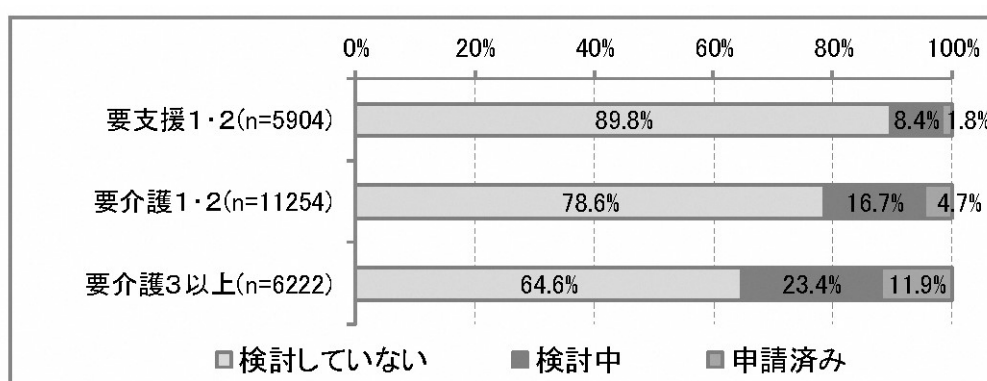
要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



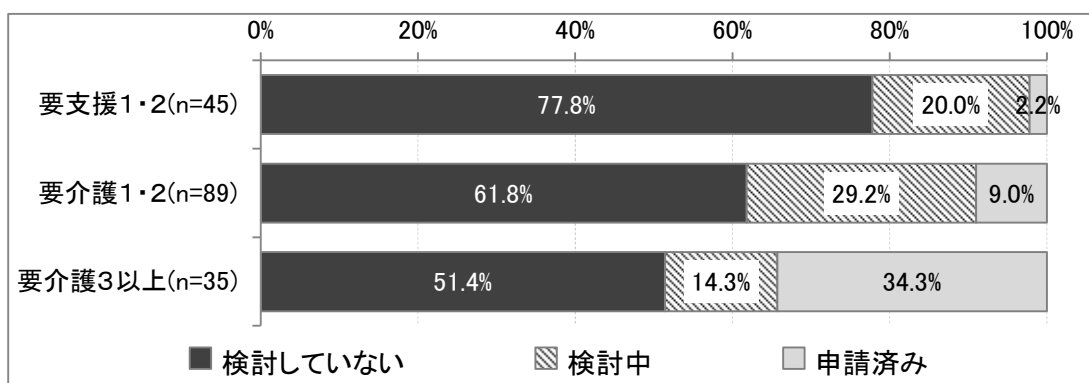
要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



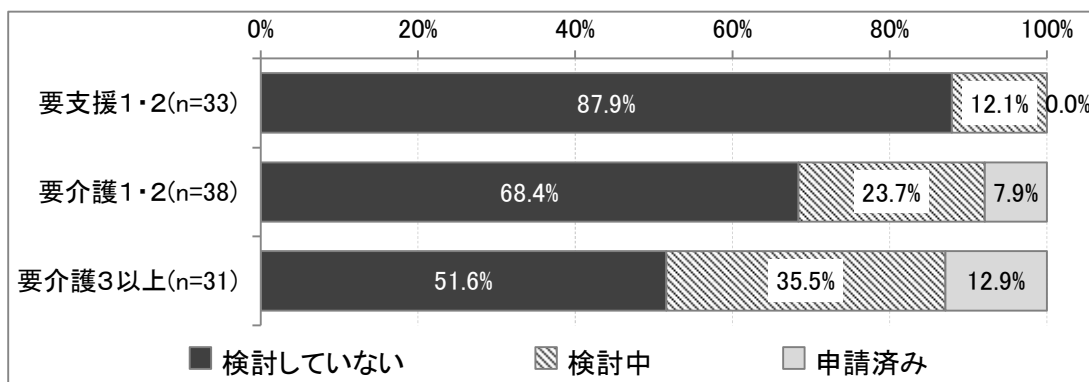
②市の調査結果では……

市では、施設等について要介護3以上で「検討していない」割合は「単身世帯」では51.4%、「夫婦のみ世帯」で51.6%、「その他世帯」では60.8%であり、単身世帯のみ全国よりも若干高くなっている。要介護3以上で「申請済み」は、「単身世帯」が34.3%、「夫婦のみ世帯」が12.9%、「その他世帯」が19.6%であり、いずれも全国を大きく上回っている。

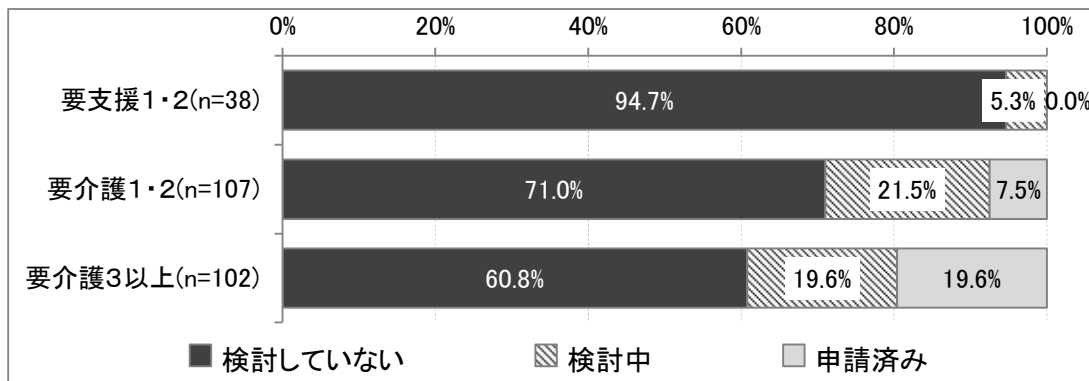
要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



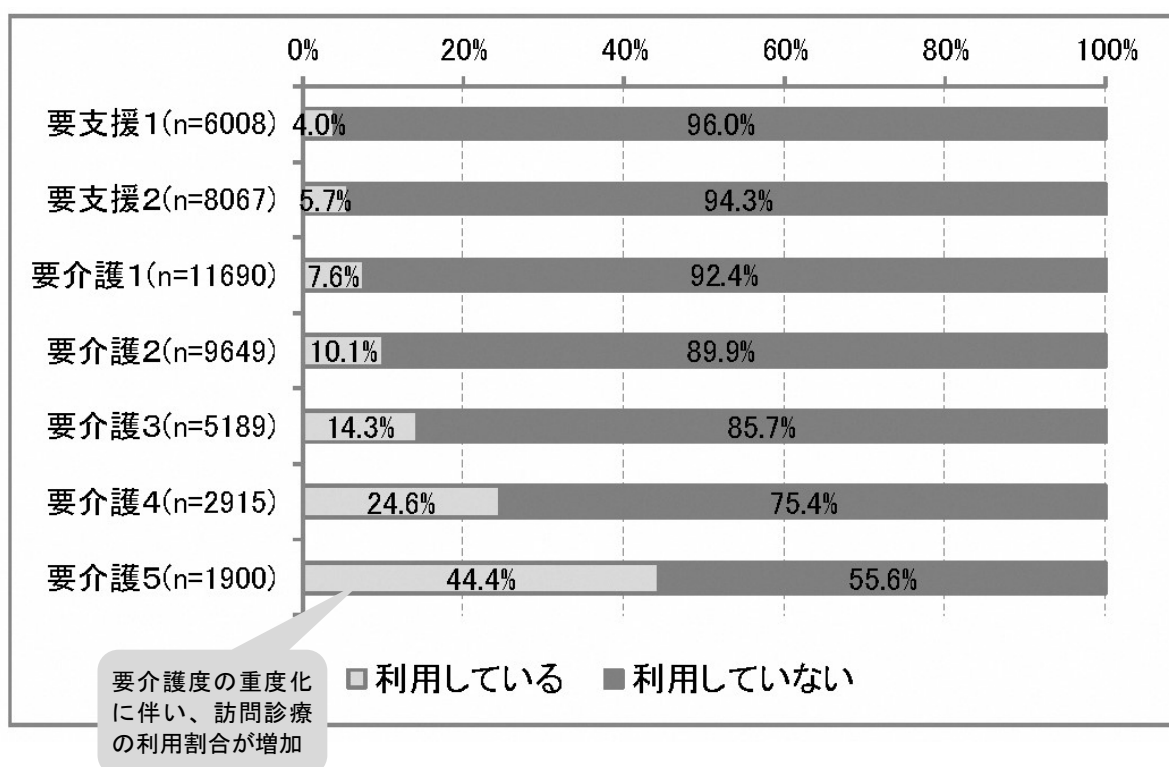
(14) 訪問診療の利用割合

①全国（R 2 在宅介護実態調査の集計結果（全国集計【10 万人以上 30 万人未満】）より）

◎「要介護度の重度化」に伴い、「訪問診療」の利用割合が増加

- ・要介護度別の「訪問診療の利用の有無」を見ると、要介護度の重度化に伴い、訪問診療の利用割合が増加しており、要支援 1 では 4.0%であった訪問診療の利用割合が、要介護 1 では 7.6%、要介護 3 では 14.3%、要介護 5 では 44.4%に増えている。
- ・今後高齢化の進展に比例して要介護認定者も増加する。それに伴い訪問診療の利用も増加すると思われるため、その受け皿を準備する必要がある。

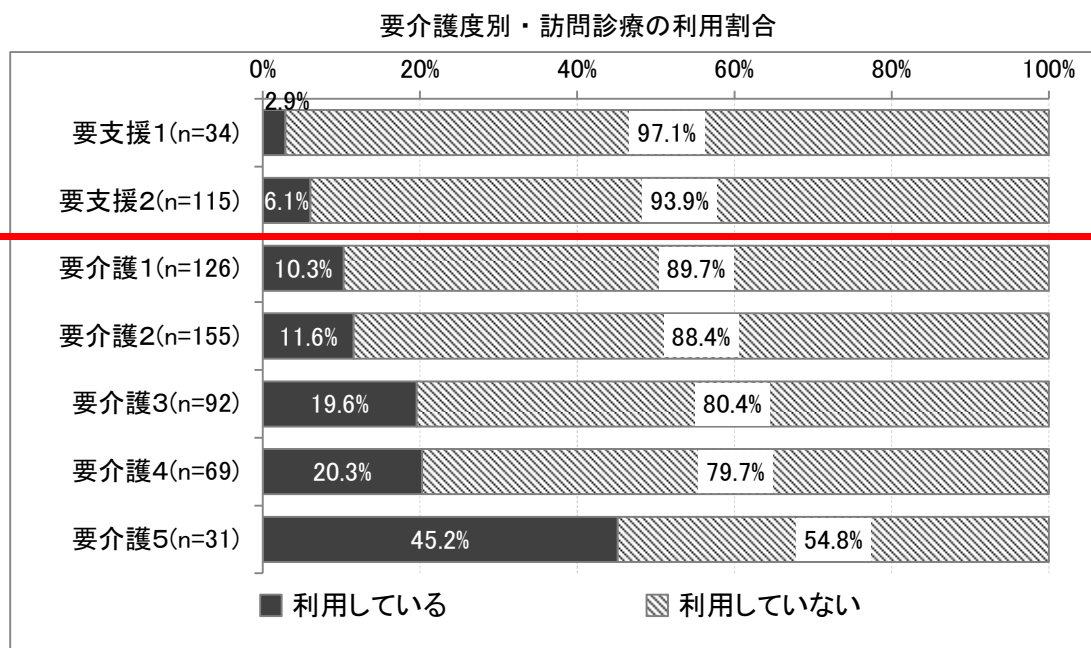
要介護度別・訪問診療の利用割合



②市の調査結果では……

市では、全国と同様に介護度が上がると利用割合が高くなる傾向が見られる。要介護度の上昇に比例して利用割合が高くなっているが、市では「要介護1」以上で利用割合が高くなっている。要介護5では45.2%と、全国値と同程度となっている。

在宅介護を継続する上では在宅医療の提供が必要なケースもあるため、在宅療養者に対する適切なサービス提供体制の確保が必要である。

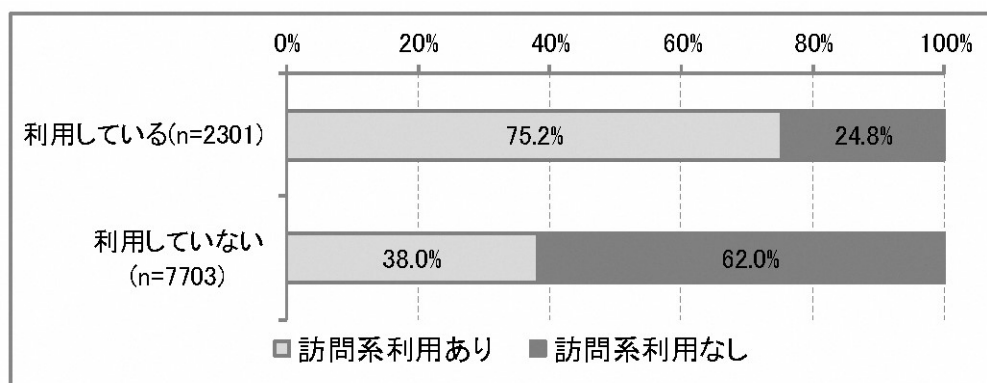


(15) 訪問診療とサービスの利用有無の関係

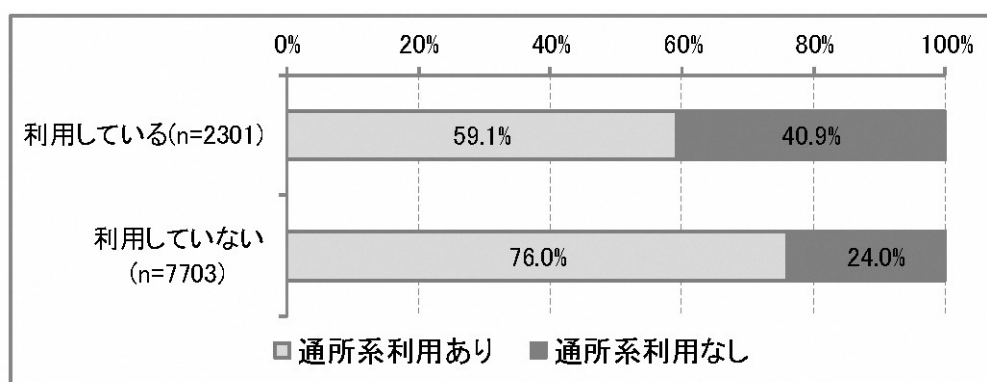
①全国（R 2 在宅介護実態調査の集計結果(全国集計【10 万人以上 30 万人未満】）より）

◎全国では、「訪問診療を利用している」ケースでは、短期系の利用割合が低い。

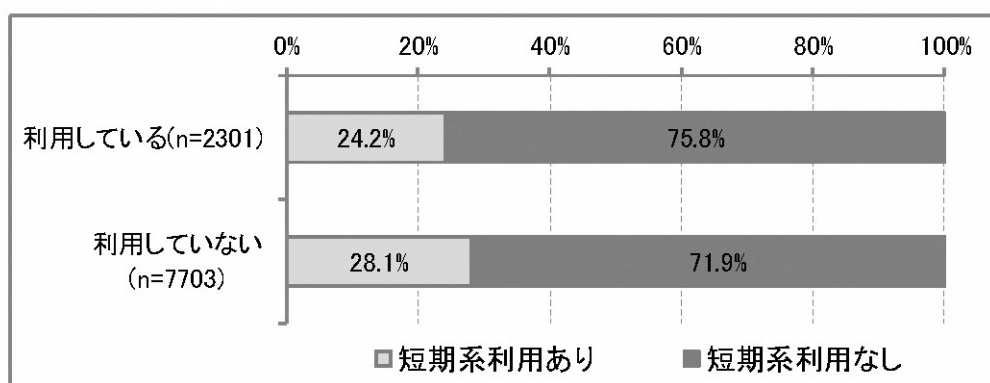
訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）



訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）



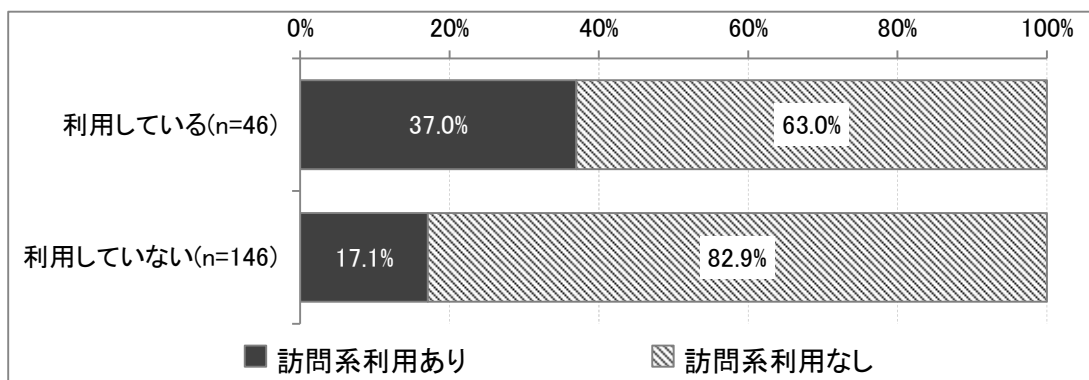
訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）



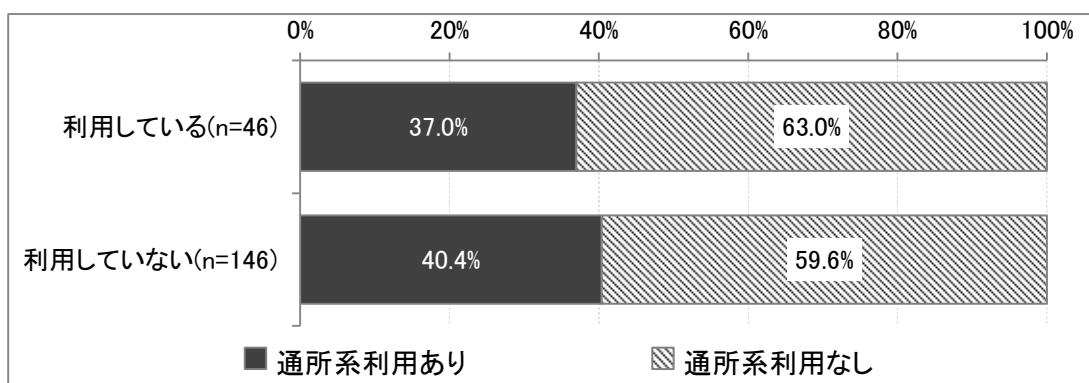
②市の調査結果では……

市では、いずれのサービスでも訪問診療利用率は全国を下回っている。やや訪問系サービス利用者の方が訪問診療利用率は高いが、全国ほどの差異は開いていない。

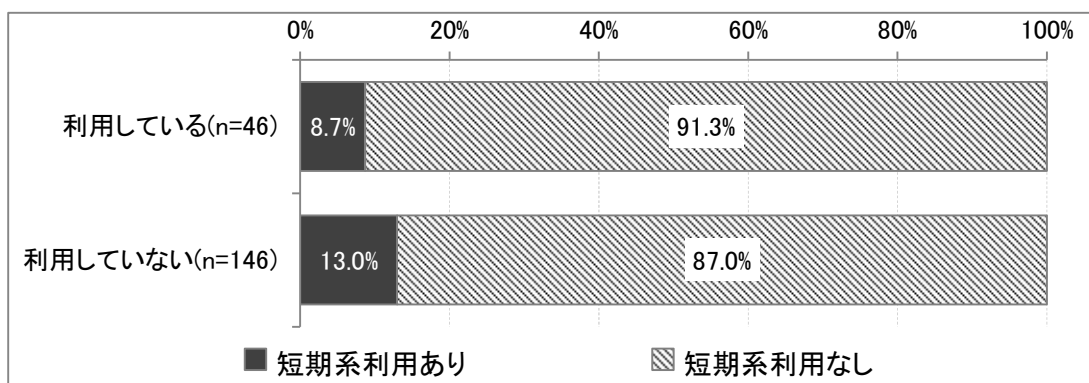
訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）



訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）



訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）



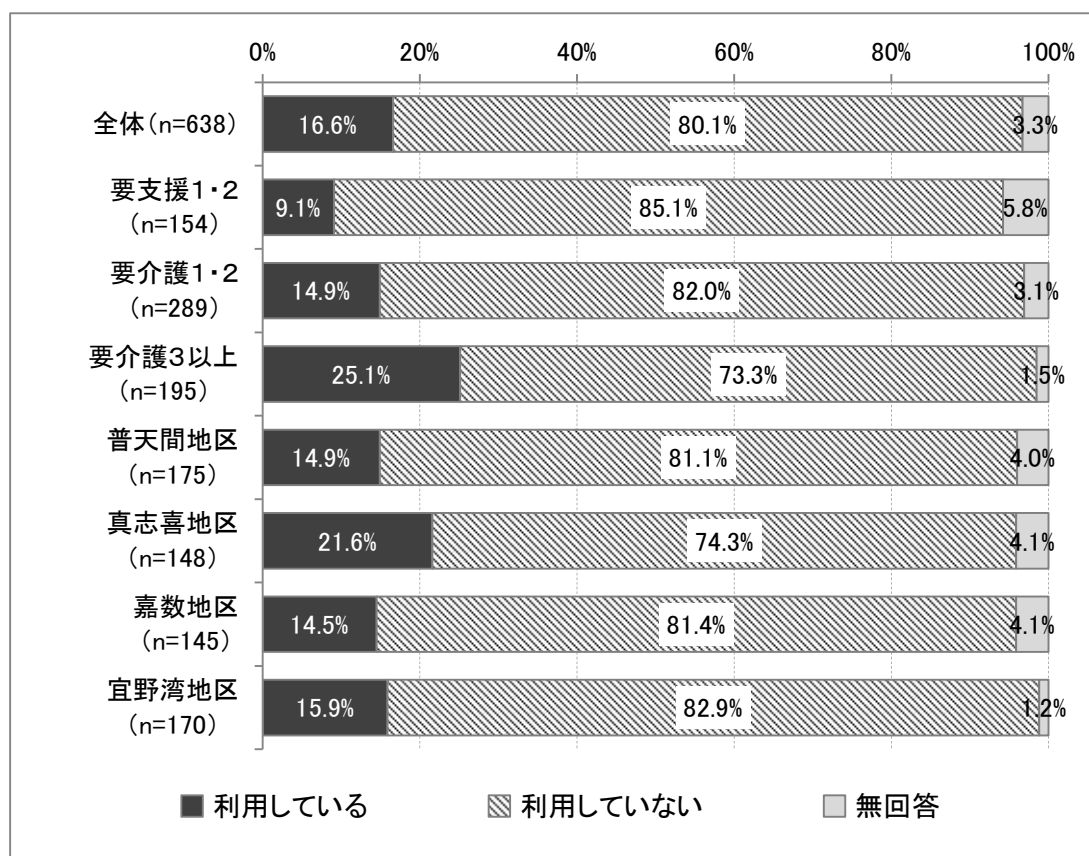
(16) 訪問看護の利用状況

訪問看護の利用状況は、全体では16.6%の人は「利用している」と回答している。

要介護度で見ると、要介護度が重くなるにつれて利用している人が増加している。

地区別で見ると、全体と同様の傾向がみられるが「真志喜地区」は21.6%と最も多く他なっている。

訪問看護の利用状況



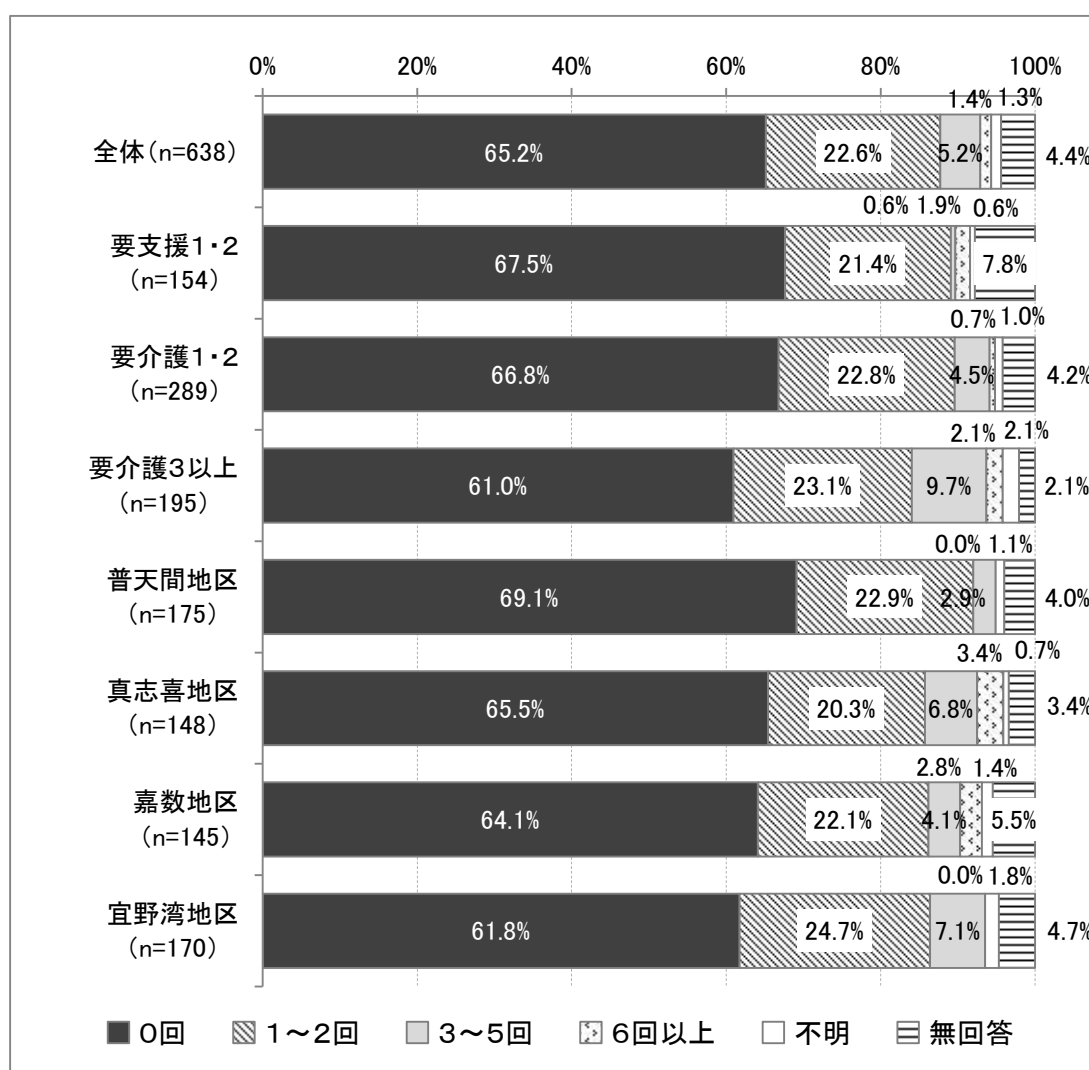
(17) 救急(総合病院への定期外受診)の受診回数

最近6か月以内に、救急(総合病院への定期外受診)を受診した回数を尋ねたところ、全体では6割の人は受診していないと回答している。

要介護度で見ると、要介護度が重くなるにつれて受診したことがある人が増加しており、体力の低下とともに受診する可能性が高くなることがうかがえる。

地区別で見ると、「0回」はいずれも6割であるが、「普天間地区」は69.1%と最も高くなっている。「1～2回」では「宜野湾地区」が24.7%と最も多くなっている。

救急の受診回数

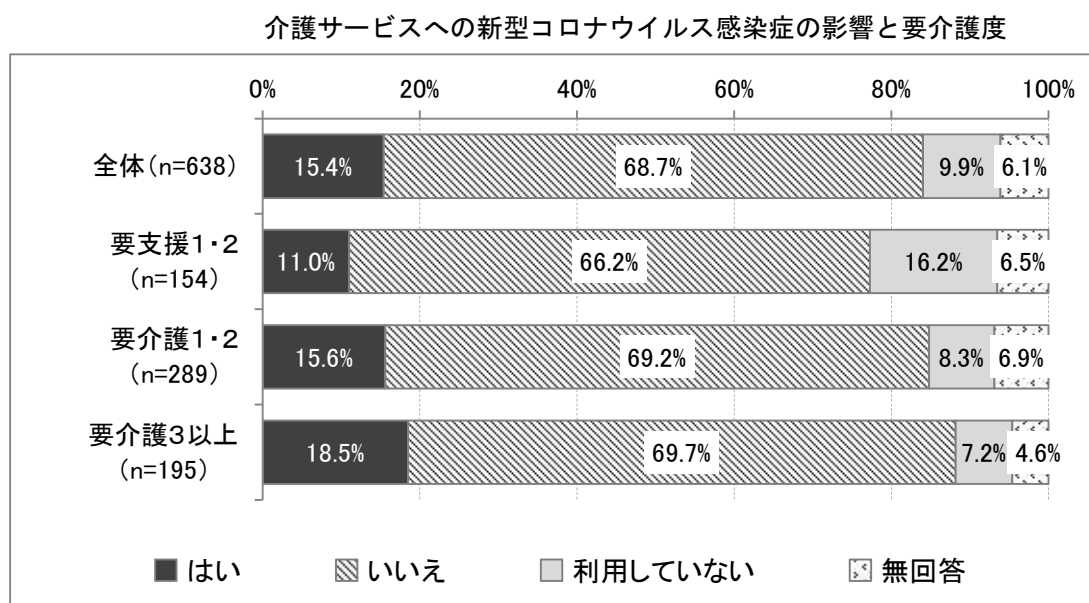


(18) 新型コロナウイルス感染症の影響

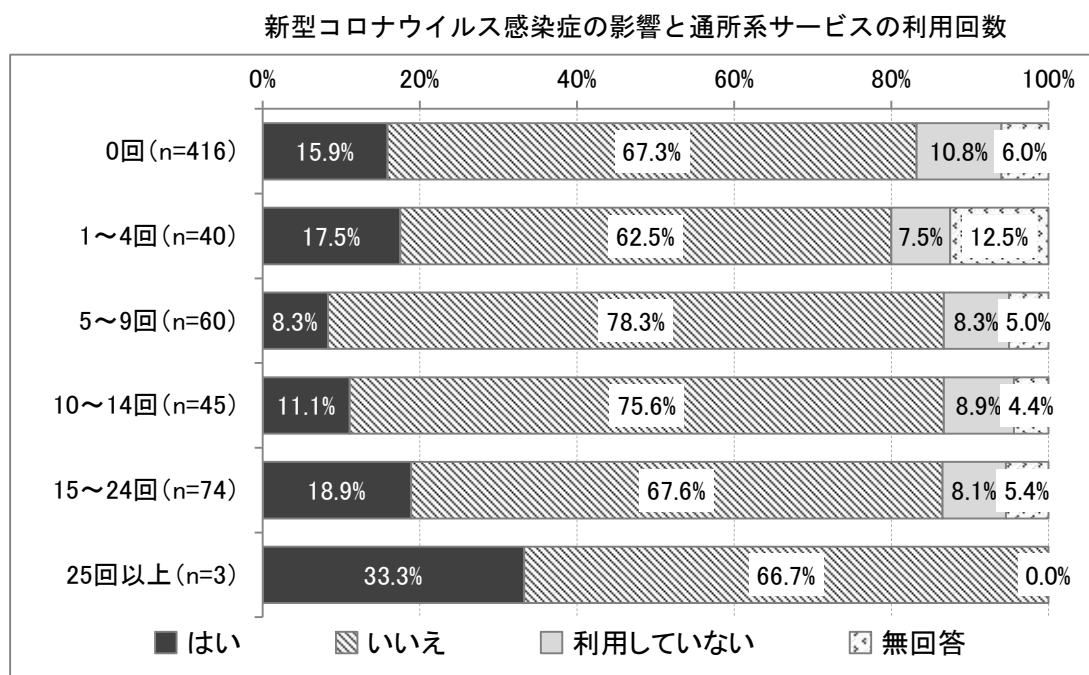
①介護サービス利用への影響

介護サービスへの利用について新型コロナウイルス感染症の影響を尋ねたところ、「はい」（影響があった）が15.4%、「いいえ」（影響はない）が68.7%となっている。

要介護度別に見ると、「はい」（影響があった）という回答は要介護度が重くなるほど割合が高くなる傾向が見られる。



外出を抑えることを求められたコロナ禍では、日常生活にも大きな影響を与えたと言われる。通所系の介護サービスの利用回数への影響を見ると、「25回以上」利用は「はい」（影響があった）の割合が33.3%と最も高く、これに「15～24回」利用の18.9%、「1～4回」利用の17.5%が続いている。

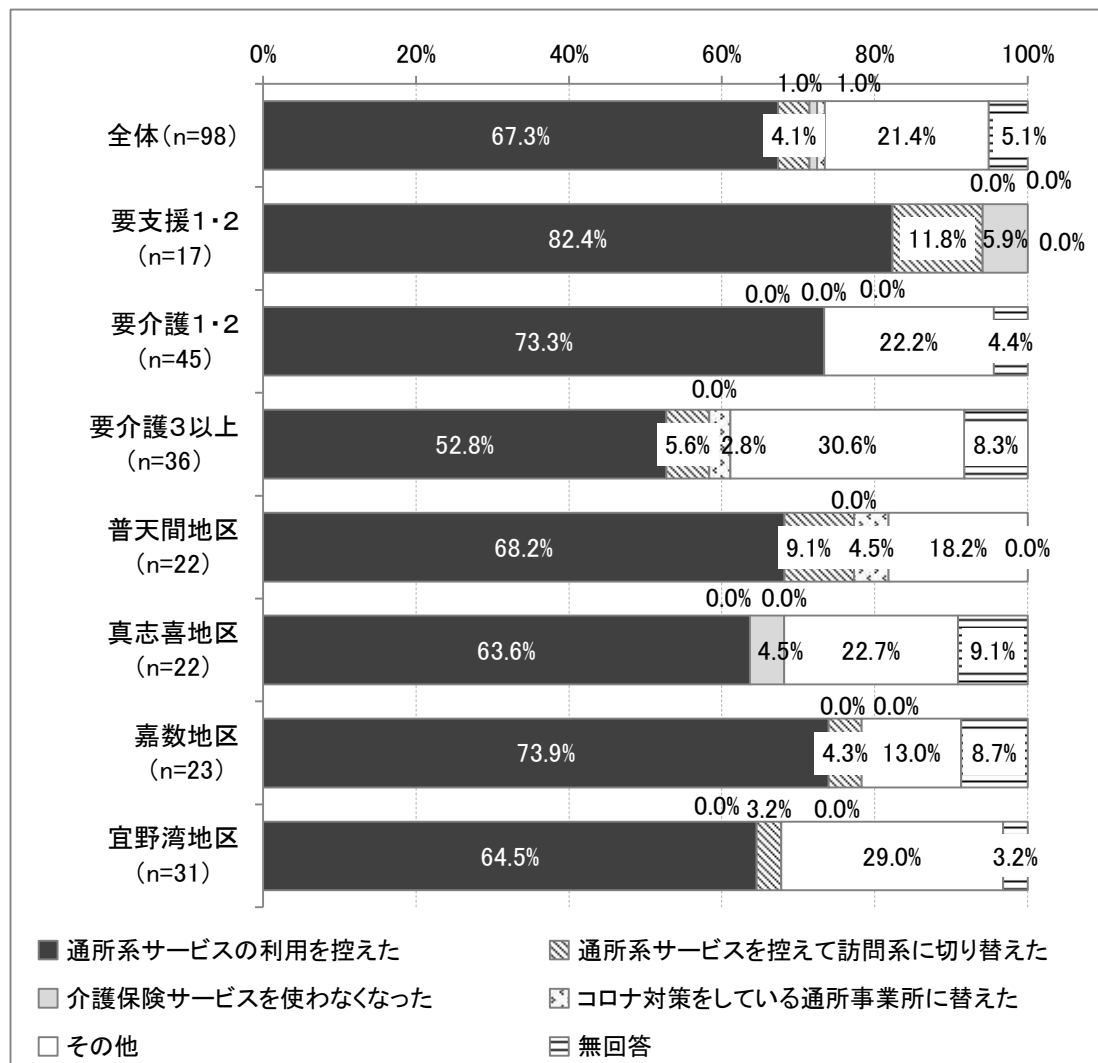


介護サービスへの新型コロナウイルス感染症の影響があったと回答した人に、その影響の種類を尋ねると、6割強の人が「通所系サービスの利用を控えた」と回答している。

要介護度別に見ると、「要支援1・2」では、「通所系サービスを控えて訪問系サービスに切り替えた」が11.8%あり、要介護1・2や要介護3以上より高い。

地区別で見ると、全体と同様の傾向がみられたが、「普天間地区」では「通所系サービスを控えて訪問系に切り替えた」という回答が他の地区に比べて高く、1割程度いた。

新型コロナウイルス感染症の影響の内容

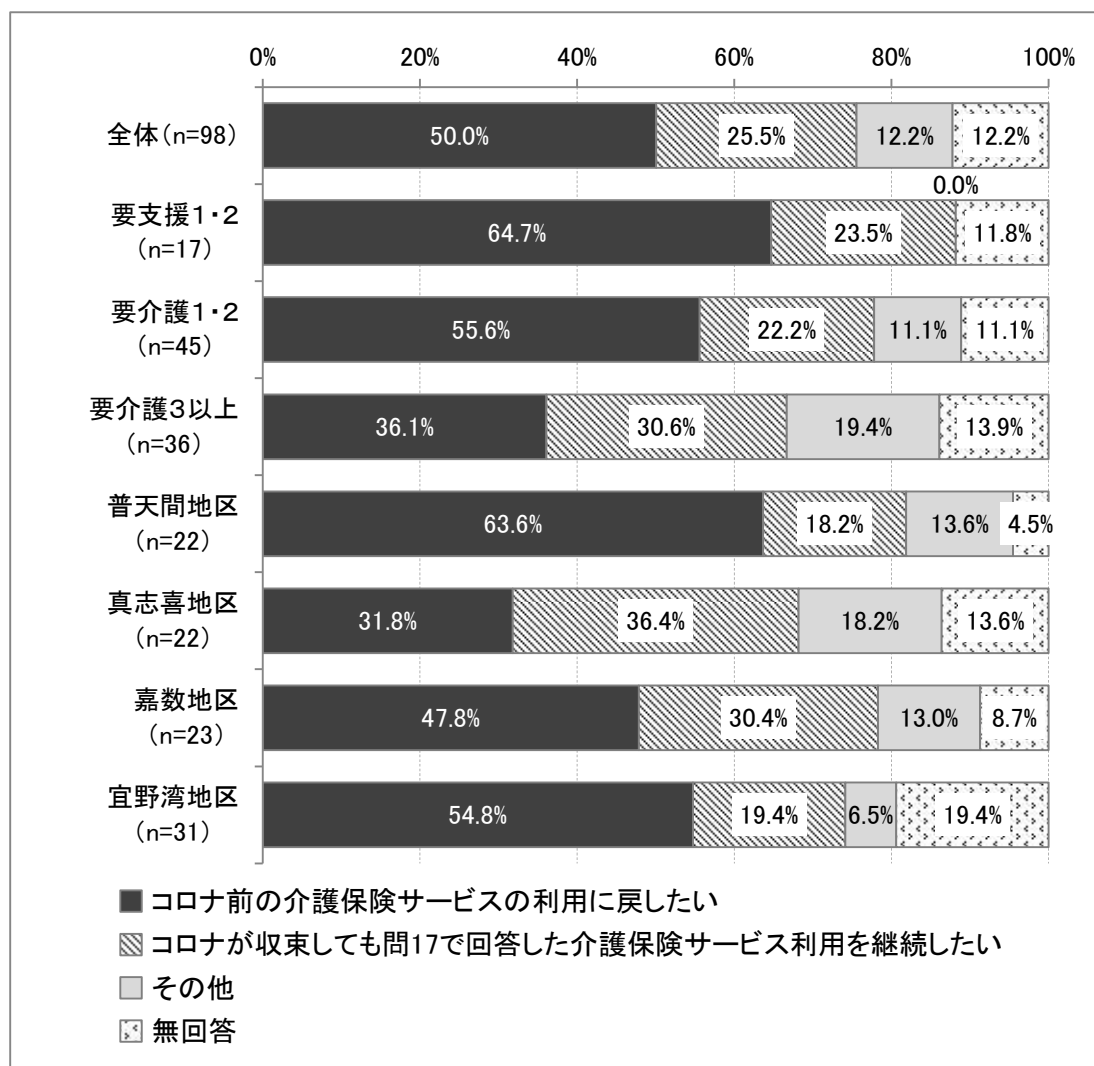


新型コロナウイルス感染症が収束し、外出などに支障が無くなったときの、介護サービス利用状況を尋ねたところ、「コロナ前の介護保険サービスの利用に戻したい」が5割なのに対し、「現状の介護保険サービス利用を継続したい」が2割あった。新型コロナウイルス感染症蔓延以前の生活に戻ることを既定路線と考える人よりも、現状維持を選択する人の方がやや多いといえる。

要介護度別に見ると、明確な差異が見られた。「要支援1・2」では「コロナ前の介護保険サービスの利用に戻したい」が6割と他の要介護度より高くなっている。「要介護3以上」では「コロナ前の介護保険サービスの利用に戻したい」と「現状の介護保険サービス利用を継続したい」がほぼ3割と拮抗している状態となっている。

地区別で見ると、地区によって大きな差が見られた。「普天間地区」、「宜野湾地区」では「コロナ前の介護保険サービスの利用に戻したい」が6割程度あるのに対し、「真志喜地区」では3割にとどまっている。

ポスト・新型コロナウイルス感染症の介護サービスの利用



在宅の要介護者用

宜野湾市 在宅介護実態調査 調査票

調査番号〔 _____ 〕

ごあいさつ

皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から宜野湾市の介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

宜野湾市では、令和5年度中に「第9期宜野湾市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定いたします。来年度の計画策定に先立ち、高齢者やそのご家族の皆様の在宅介護の現状や課題を把握するために、アンケート調査を実施することといたしました。この調査は、市内に住む65歳以上の方で要介護（要支援）認定を受けている方から無作為に抽出した約1,400人を対象に行うものです。

調査結果は、来年度の計画策定及び介護保険事業の推進に役立てると同時に、地域包括支援センターの活動や市政等に広く活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、回答の内容は、宜野湾市個人情報保護条例を遵守し、適正に取り扱います。

宜野湾市長

【注意】 この調査は、在宅生活の方を対象としています。
万が一、施設入所者及び介護付有料老人ホームの方に届いた場合、調査票にお答えいただく必要はありません。お手数ですが、本票を破棄していただくようお願いします。

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 回答の目安時間は約15分です。
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、
12月19日(月)までにポストに投函してください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、在宅で介護を受けながら生活する要介護者や介護者の状況把握を行い、今後の市の取り組みを検討するために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、宜野湾市における介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

<調査実施者>

宜野湾市 介護長寿課

<お問い合わせ先（調査協力事業者）>

(有)システムエッグ・Next-i (株)共同企業体

住所 島尻郡南風原町与那覇115-1 電話 098-888-3090

A 票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

【ご回答をいただいたのは、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

1. ない

問8へ

2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

→ **問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）**

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60歳～64歳 |
| 7. 65歳～69歳 | 8. 70歳～74歳 | 9. 75歳～79歳 |
| 10. 80歳以上 | 11. わからない | |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |

11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

▶ 問6-1 問6〔身体介護 11. 医療面での対応〕を選択した方にお伺いします。
医療面で対応していることについて、ご回答ください。（複数回答可）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 経管栄養（胃ろう、経鼻） | 2. ストーマ（消化管、膀胱） |
| 3. 在宅酸素 | 4. 喀痰吸引 |
| 5. 気管切開 | 6. 褥瘡処置 |

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問 8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 利用していない | |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 特になし | |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している ⇒問 10-2 へ |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている ⇒問 11 へ | |

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

→ 問 10-1 「1. 入所・入居は検討していない」を選択された方にお伺いします。
現在のお住まいについて、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 自宅（持ち家、借家） | 2. 住宅型有料老人ホーム |
| 3. サービス付高齢者住宅 | |

問 10-2 「2. 入所・入居を検討している」を選択された方にお伺いします。
施設等に入所・入居を検討している理由は何ですか（1つを選択）

1. 在宅介護者の負担軽減のため
2. 在宅介護者が日中は就労等で不在のため
3. 入所していた方が安心だから
4. 本人の希望だから
5. その他（ ）

問 11 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14. その他
15. なし
16. わからない

問 12 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

1. 利用している 2. 利用していない

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している 2. 利用していない

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

1. 利用している 2. 利用していない

1. 0回 2. 1～2回 3. 3～5回 4. 6回以上 5. 不明

1. はい 2. いいえ 3. 利用していない

1. 通所系サービスの利用を控えた
2. 通所系サービスを控えて訪問系に切り替えた
3. 介護保険サービスを使わなくなった
4. コロナ対策をしている通所事業所に替えた
5. その他（ ）

問 19 問 17 で「1. はい」と回答した方にお伺いします。コロナが収束した後のサービスの利用はどのようにお考えですか（1つを選択）

1. コロナ前の介護保険サービスの利用に戻したい
2. コロナが収束しても問 17 で回答した介護保険サービス利用を継続したい
3. その他 ()

- A票の問2で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

1. フルタイムで働いている
 2. パートタイムで働いている

3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

問5へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

→ 問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)
(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問6 日中、介護・介助する人は在宅していますか(1つを選択)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 日中はほとんど家にいる | |
| 2. 仕事のため、日中はほとんど家にいない | |
| 3. 仕事のため、日中の半日程度家にいない | |
| 4. 仕事以外の理由で、日中はほとんど家にいない | |
| 5. その他 (|) |

問7 介護・介助をしていて孤独感がありますか(1つを選択)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. よく感じる | 2. ときどき感じる |
| 3. あまり感じない | 4. ほとんど感じない |

問8 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか(複数選択可)

1. 配偶者
2. 兄弟姉妹・親戚・親・子・孫
3. 近隣
4. 友人
5. ケアマネジャー・ヘルパーなどのサービス事業者
6. 地域包括支援センター
7. 病院の医師・看護師
8. その他 ()
9. そのような人はいない

問9 在宅介護を続ける上で必要なことは何ですか(複数選択可)

1. 時々見に来てくれる在宅介護のアドバイザー
2. 24時間定期的に来てくれる訪問介護
3. 医療の面で様子を見に来てくれる専門員(在宅医療)
4. 時々、要介護者をみてくれたりする人、または代わってくれる人
5. その他 ()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。